

1. 生活各面の重要度

生活関連の65項目について、「非常に重要」、「かなり重要」、「普通」、「それほど重要でない」、「まったく重要でない」に区分して、その考え方を聞いたところ、「非常に重要」と答えたのが最も多かったのは、「診療・治療の機会」で71.6%、次いで「犯罪の防止」(71.5%)、「救急医療体制の確保」(70.8%)、「犯罪検挙の充実」(70.0%)、「法執行の公正」(66.6%)とつづき、以下10位までの項目は表1-1のとおりとなっている。

4年前と比較すると、上位10項目には変動はないが、順位的には異なり、前回1位であった「救急医療体制の確保」が3位に後退し、「犯罪の防止」が前回の5位から2位になったのが目立つ状況にある。また、前回に比べると、「非常に重要」とみる割合は全体的に少なくなり、上位10項目の中では「歩行者の安全確保」、「救急医療体制の確保」、「物価の安定」、「親と子の対話」の低下が目立っている。

次に、「非常に重要」とみる割合が少ない10項目をみると、表1-2のとおりで、前回に比べると、やはり割合は少なくなっている状況にある。

このように、「非常に重要」とみる割合が全体的に低下し、県民の意識も生活環境の変化に伴って変化した状況にあるが、医療、防犯、失業、物価、家族、交通安全面を重視する傾向は変わっていない状況にある。

なお、65項目の平均(非常に重要)割合は42.2%で、前回より5.2ポイントの低下となっているが、この中で「県内就職の機会」、「週休2日制・労働時間の短縮」、「犯罪の防止」の3項目の割合はいくぶん上昇し、重視する度合が相対的に高まった状況にある。

表1-1 重要度の高い10項目

(単位:%)

順位	項目	割合 増減		
		今回(1)	前回(2)	(1-2)
1	(1) 診療・治療の機会	71.6	77.1②	ポイント △ 5.5
2	(50) 犯罪の防止	71.5	71.3⑤	0.2
3	(4) 救急医療体制の確保	70.8	77.6①	△ 6.8
4	(51) 犯罪検挙の充実	70.0	72.0③	△ 2.0
5	(53) 法執行の公正	66.6	71.2⑥	△ 4.6
6	(14) 失業の不安の解消	65.8	72.0④	△ 6.2
7	(52) 暴力対策	65.2	70.1⑧	△ 4.9
8	(42) 物価の安定	64.2	71.0⑦	△ 6.8
9	(54) 親と子の対話	63.3	70.1⑨	△ 6.8
10	(39) 歩行者の安全確保	62.4	69.3⑩	△ 6.9

表1-2 重要度の低い10項目

(単位:%)

順位	項目	割合 増減		
		今回(1)	前回(2)	(1-2)
下				
1	(62) 地域行事への参加	13.3	17.5①	ポイント △ 4.2
2	(11) 各種学校の充実	14.0	18.7②	△ 4.7
3	(49) クラブ参加の機会	15.9	19.4④	△ 3.5
4	(64) コミュニティ組織の充実	17.1	23.2⑧	△ 6.1
5	(63) 公民館・集会場の利用機会	17.7	22.8⑥	△ 5.1
6	(46) 週休2日制・労働時間の短縮	19.5	19.3③	0.2
7	(47) 長期休暇の取得	19.9	21.0⑤	△ 1.1
8	(13) 伝統工芸の振興	20.4	25.3⑩	△ 4.9
9	(24) 公共住宅の整備	20.6	22.9⑦	△ 2.3
10	(22) 定年制の延長	21.2	24.9⑨	△ 3.7
	(12) (20) 転職の機会	22.2	24.8⑨	△ 2.6

注) 1 割合は、「非常に重要」と回答した割合である。

2 前回調査は54年12月、前回欄の○内数字は順位を示す。

付表 1-1 生活各面の重要度(構成比)

(県計)

(単位:%)

項目	区分		重要でない ほとんど いえない	重要でない それほど	重要でない まったく	わからない	無 答	計
	重要である ひじょうに	重要である かなり						
(1) 診療・治療の機会	71.58	19.88	4.03	2.54	0.15	1.45	0.37	100.0
(2) 費用の心配のない診療	61.54	25.96	6.75	2.54	0.34	1.98	0.90	100.0
(3) 病气予防・健康相談	49.53	35.10	7.68	4.21	0.30	2.16	1.01	100.0
(4) 救急医療体制の確保	70.79	20.37	4.10	1.57	0.19	1.64	1.34	100.0
(5) 幼稚園の施設内容	31.18	34.65	14.73	7.42	2.24	7.65	2.13	100.0
(6) 小中学校の施設内容	35.73	34.24	13.17	6.19	1.57	6.79	2.31	100.0
(7) 高校の施設内容	32.23	34.54	14.29	6.98	1.64	8.02	2.31	100.0
(8) 教育の内容・質の向上	33.98	31.29	17.98	6.75	1.19	6.42	2.39	100.0
(9) 特殊教育の充実	38.72	33.57	12.72	4.59	1.45	7.57	1.38	100.0
(10) 図書館・独学施設の整備	26.26	36.40	18.58	8.91	1.75	6.83	1.27	100.0
(11) 各種学校の充実	13.99	22.79	26.52	22.04	5.41	7.57	1.68	100.0
(12) 文化遺産・史跡の保護	25.77	38.27	19.62	8.17	1.38	5.48	1.31	100.0
(13) 伝統工芸の振興	20.37	32.38	25.03	10.67	2.13	7.46	1.98	100.0
(14) 失業の不安の解消	65.83	21.82	5.48	2.54	0.93	2.46	0.93	100.0
(15) 仕事のやりがい	55.99	31.26	6.34	2.46	0.48	2.46	1.01	100.0
(16) 職場の安全確保	49.61	33.01	7.94	3.13	0.67	4.29	1.34	100.0
(17) 男女賃金格差の解消	31.52	31.56	21.89	6.75	1.53	5.45	1.31	100.0
(18) 高齢者・身障者の就業機会	30.85	37.37	18.39	5.41	1.34	5.04	1.60	100.0
(19) 職業、居住地選択の自由	34.65	34.46	16.11	7.20	1.53	4.29	1.75	100.0
(20) 転職の機会	22.19	26.45	27.12	10.78	4.40	6.60	2.46	100.0
(21) 県内就職の機会	36.93	30.40	17.98	7.16	2.72	3.32	1.49	100.0
(22) 定年制の延長	21.22	21.11	29.06	11.49	6.64	8.69	1.79	100.0
(23) 持家の確保	51.32	27.12	10.03	5.22	2.31	2.42	1.57	100.0
(24) 公共住宅の整備	20.59	26.82	23.20	11.67	7.57	8.09	2.05	100.0
(25) 一人一部屋の確保	30.59	30.25	19.13	12.38	3.47	2.35	1.83	100.0
(26) 地価の安定	42.75	25.62	15.55	5.67	2.61	6.15	1.64	100.0
(27) 良好な住宅環境	41.33	37.93	11.04	5.22	1.27	1.64	1.57	100.0
(28) 交通の便	38.98	37.75	10.93	6.86	2.31	1.68	1.49	100.0
(29) 買物の利便	31.93	40.81	13.99	8.65	1.75	1.23	1.64	100.0
(30) 公衆電話の充実	24.02	32.64	18.31	16.82	4.33	1.86	2.01	100.0
(31) 上水道の整備	62.14	28.50	3.99	2.16	1.31	0.67	1.23	100.0
(32) 公園の整備	37.75	39.39	10.89	6.27	1.64	2.20	1.86	100.0
(33) ゴミ、下水道の衛生処理	59.83	32.30	3.51	1.42	0.82	1.12	1.01	100.0
(34) 親しめる自然環境	33.23	39.43	14.51	8.69	1.19	1.86	1.08	100.0
(35) 緑地の確保	35.32	43.72	13.05	4.77	0.56	1.53	1.04	100.0
(36) 公害防止の充実	51.70	35.17	6.12	3.02	1.38	1.42	1.19	100.0
(37) 基地の安全管理の確保	56.84	24.28	7.98	2.46	2.16	4.74	1.53	100.0
(38) 災害対策の充実	59.01	29.17	6.04	2.46	0.67	1.57	1.08	100.0
(39) 歩行者の安全確保	62.36	28.68	4.70	1.57	0.48	0.90	1.31	100.0
(40) 交通ルールの遵守	61.95	28.87	5.15	1.34	0.26	1.04	1.38	100.0
(41) 収入の増加	57.48	27.00	8.13	1.98	0.71	3.10	1.60	100.0
(42) 物価の安定	64.23	25.96	4.81	1.08	0.34	2.20	1.38	100.0
(43) 年金制度の充実	61.13	25.74	6.56	2.28	0.41	2.57	1.31	100.0
(44) 消費生活の省資源化	40.13	39.69	12.35	2.16	0.41	3.66	1.60	100.0
(45) 商品苦情相談の充実	26.26	38.38	18.65	7.57	0.97	6.23	1.94	100.0
(46) 週休2日制、労働時間の短縮	19.47	24.69	29.21	13.65	5.15	6.15	1.68	100.0
(47) 長期休暇の取得	19.92	26.37	24.58	16.49	5.48	5.67	1.49	100.0
(48) 運動施設の利用機会	21.75	36.44	20.48	13.20	3.06	3.69	1.38	100.0
(49) クラブ参加の機会	15.93	29.06	26.30	18.09	4.48	4.96	1.19	100.0
(50) 犯罪の防止	71.50	21.48	3.13	1.45	0.45	1.12	0.86	100.0
(51) 犯罪検挙の充実	70.01	23.39	3.06	1.04	0.41	1.08	1.01	100.0
(52) 暴力対策	65.16	27.60	3.39	1.23	0.37	1.12	1.12	100.0
(53) 法執行の公正	66.58	23.50	4.40	0.97	0.15	2.83	1.57	100.0
(54) 親と子の対話	63.33	27.68	4.70	1.27	0.41	1.42	1.19	100.0
(55) 青少年の非行防止	60.39	29.24	5.11	1.83	0.63	1.64	1.16	100.0
(56) 円満な夫婦関係	62.33	22.57	5.82	1.75	1.83	4.48	1.23	100.0
(57) 家事、育児、教育相談の充実	33.01	39.76	12.72	6.56	1.79	4.92	1.23	100.0
(58) 福祉サービスの充実	52.97	33.79	6.64	2.16	0.82	2.69	0.93	100.0
(59) 生活保障の確保	50.43	34.88	8.17	2.05	0.97	2.09	1.42	100.0
(60) 保育の機会	30.25	33.76	16.30	8.28	4.10	5.52	1.79	100.0
(61) 近隣とのつきあい	36.29	40.25	13.80	5.59	0.78	1.75	1.53	100.0
(62) 地域行事への参加	13.28	27.23	34.05	17.72	3.66	3.02	1.04	100.0
(63) 公民館・集会場の利用機会	17.68	34.13	27.71	13.58	2.61	2.87	1.42	100.0
(64) コミュニティー組織の充実	17.12	33.49	28.27	11.86	2.69	5.07	1.49	100.0
(65) 住民参加	41.07	39.31	11.53	3.06	0.71	3.28	1.04	100.0
計	42.15	31.09	13.44	6.36	1.84	3.68	1.45	100.0

付表1-2 生活各面の重要度の前回比較(構成比差)

(県計)

(単位:ポイント)

項目	区分							
	重要である ひょうじょうに	重要である かなり	いえない どちらにも	重要でない それほど	重要でない まったく	わからない	無 答	
(1) 診療・治療の機会	△ 5.56	3.18	1.33	1.61	△ 0.02	△ 0.11	△ 0.26	
(2) 費用の心配のない診療	△ 2.94	1.47	1.32	1.03	△ 0.25	△ 0.26	△ 0.46	
(3) 病気予防・健康相談	△ 4.52	1.69	0.91	1.90	0.13	0.36	△ 0.26	
(4) 救急医療体制の確保	△ 6.78	5.03	1.86	0.72	0	0.30	△ 0.36	
(5) 幼稚園の施設内容	△ 8.44	△ 0.61	4.07	3.04	△ 1.05	2.12	△ 0.72	
(6) 小中学校の施設内容	△ 9.12	0.78	3.92	3.22	0.89	1.80	△ 1.10	
(7) 高校の施設内容	△ 8.85	0.96	2.82	3.60	1.08	2.42	△ 1.46	
(8) 教育の内容・質の向上	△ 6.05	4.58	1.11	1.32	0.31	0.06	△ 0.63	
(9) 特殊教育の充実	△ 10.05	2.87	4.20	1.89	0.40	2.09	△ 0.88	
(10) 図書館・独学施設の整備	△ 6.05	△ 1.39	4.41	2.26	0.61	1.74	△ 0.90	
(11) 各種学校の充実	△ 4.73	△ 5.67	2.66	4.36	2.88	1.46	△ 0.39	
(12) 文化遺産・史跡の保護	△ 5.10	△ 0.37	2.43	2.96	0.43	0.76	△ 3.41	
(13) 伝統工芸の振興	△ 4.90	△ 3.41	3.82	4.24	0.99	0.74	△ 1.04	
(14) 失業の不安の解消	△ 6.22	3.39	2.10	1.66	0.32	△ 0.32	△ 0.73	
(15) 仕事のやりがい	△ 7.07	3.99	1.30	1.51	0.24	0.20	△ 0.06	
(16) 職場の安全確保	△ 7.41	3.35	2.97	1.89	0.21	0.10	△ 0.71	
(17) 男女賃金格差の解消	△ 2.40	2.15	△ 1.05	2.71	0.24	△ 0.32	△ 0.83	
(18) 高齢者・身障者の就業機会	△ 5.84	1.77	2.42	2.37	0.68	△ 0.27	△ 0.74	
(19) 職業・居住地選択の自由	△ 2.90	0.59	△ 0.64	2.99	0.51	0.61	△ 0.76	
(20) 転職の機会	△ 2.55	△ 0.82	1.19	1.55	1.79	△ 0.07	△ 0.58	
(21) 県内就職の機会	0.29	1.18	△ 1.50	0.68	1.19	△ 0.48	△ 0.92	
(22) 定年制の延長	△ 3.64	△ 0.93	1.45	3.53	1.87	△ 1.10	△ 0.79	
(23) 持家の確保	△ 7.31	1.77	2.63	2.86	1.36	△ 0.04	△ 0.77	
(24) 公共住宅の整備	△ 2.35	△ 2.74	0.80	3.56	3.70	△ 1.16	△ 1.21	
(25) 一人一部屋の確保	-	-	-	-	-	-	-	
(26) 地価の安定	△ 3.90	1.42	1.89	2.48	0.54	△ 0.69	△ 1.23	
(27) 良好な住宅環境	△ 6.37	1.38	2.59	2.54	0.64	0.13	△ 0.62	
(28) 交通の便	△ 5.75	△ 0.67	2.14	3.18	1.36	0.71	△ 0.70	
(29) 買物の利便	△ 4.74	0.27	1.52	2.93	1.09	△ 0.04	△ 0.72	
(30) 公衆電話の充実	△ 8.07	△ 3.42	2.43	7.49	2.46	0.16	△ 0.60	
(31) 上水道の整備	△ 6.43	5.00	1.09	0.89	0.85	0.04	△ 0.99	
(32) 公園の整備	△ 8.12	2.82	2.76	2.42	0.84	0.15	△ 0.36	
(33) ゴミ、下水道の衛生処理	△ 4.89	5.42	0.27	0.47	0.58	△ 0.02	△ 1.08	
(34) 親しめる自然環境	△ 7.12	3.13	1.36	3.87	0.70	△ 0.36	△ 1.28	
(35) 緑地の確保	△ 7.87	5.66	2.24	1.60	0.07	△ 0.47	△ 0.98	
(36) 公害防止の充実	△ 7.03	4.52	0.89	1.51	0.63	0.03	△ 0.32	
(37) 基地の安全管理の確保	△ 1.55	2.49	△ 0.71	0.22	1.04	△ 0.28	△ 0.83	
(38) 災害対策の充実	△ 3.10	1.53	1.46	0.78	0.50	0.08	△ 1.04	
(39) 歩行者の安全確保	△ 6.89	5.01	1.73	0.94	0.29	△ 0.12	△ 0.69	
(40) 交通ルールの遵守	-	-	-	-	-	-	-	
(41) 収入の増加	△ 0.54	0.97	△ 0.08	0.37	0.27	0.15	△ 0.86	
(42) 物価の安定	△ 6.80	6.31	0.94	0.54	0.05	0.33	△ 1.01	
(43) 年金制度の充実	△ 4.10	2.49	2.01	1.31	0.22	△ 0.50	△ 0.71	
(44) 消費生活の省資源化	△ 8.03	5.04	4.22	0.85	0.22	△ 0.65	△ 1.22	
(45) 商品苦情相談の充実	△ 4.05	△ 1.65	3.26	2.92	0.43	0.48	△ 0.91	
(46) 週休2日制、労働時間の短縮	0.21	0.73	△ 0.81	2.67	0.77	△ 1.54	△ 1.58	
(47) 長期休暇の取得	△ 1.07	0.12	△ 1.62	4.24	1.34	△ 1.10	△ 1.48	
(48) 運動施設の利用機会	△ 4.77	△ 1.40	1.76	4.65	1.99	△ 0.60	△ 1.25	
(49) クラブ参加の機会	△ 3.50	△ 3.25	2.17	4.60	1.95	△ 0.13	△ 1.44	
(50) 犯罪の防止	0.18	0.47	0.35	0.72	0.13	0.15	△ 1.65	
(51) 犯罪検挙の充実	△ 1.99	3.18	0.11	0.43	0.22	△ 0.11	△ 1.52	
(52) 暴力対策	△ 4.96	4.40	1.00	0.52	0.30	0.17	△ 1.24	
(53) 法執行の公正	△ 4.64	5.92	0.46	0.34	△ 0.04	△ 1.04	△ 0.77	
(54) 親と子の対話	△ 6.75	4.57	1.53	0.83	0.17	0.40	△ 0.56	
(55) 青少年の非行防止	△ 7.42	6.04	1.26	1.10	0.39	0.03	△ 1.03	
(56) 円満な夫婦関係	△ 3.19	2.36	0.39	0.92	1.34	0.12	△ 1.57	
(57) 家事、育児、教育相談の充実	△ 5.78	0.19	2.42	3.30	1.13	0.42	△ 1.30	
(58) 福祉サービスの充実	△ 8.83	5.79	2.55	1.14	0.45	0.40	△ 1.26	
(59) 生活保障の確保	△ 10.69	6.73	4.25	0.86	0.60	△ 0.22	△ 1.11	
(60) 保育の機会	△ 8.37	△ 0.79	3.35	3.87	2.71	0.58	△ 0.89	
(61) 近隣とのつきあい	△ 7.85	1.80	3.72	3.06	0.49	0.34	△ 1.15	
(62) 地域行事への参加	△ 4.20	△ 4.74	3.78	5.62	1.69	△ 0.49	△ 1.22	
(63) 公民館・集会場の利用機会	△ 5.11	△ 5.12	4.82	5.57	1.44	△ 0.20	△ 1.06	
(64) コミュニティ組織の充実	△ 6.06	△ 4.64	5.50	5.70	1.28	△ 0.36	△ 1.09	
(65) 住民参加	△ 7.72	3.18	3.52	1.43	0.42	0.36	△ 0.98	
計	△ 5.24	1.48	1.85	2.34	0.84	0.05	△ 0.91	

注) 前回は54年12月調査、(25)一人一部屋の確保、(40)交通ルールの遵守は、今回から調査した項目である。

次に、男女別にみると、「非常に重要」とみているのが最も多いのは、男子においては「犯罪の防止」で72.3%、次いで「救急医療体制の確保」（72.2%）、「診療・治療の機会」（71.5%）、「犯罪検挙の充実」（70.4%）、「法執行の公正」（68.8%）、また、女子においては、「診療・治療の機会」で71.6%、次いで「犯罪の防止」（70.5%）、「犯罪検挙の充実」（69.7%）、「救急医療体制の確保」（69.1%）、「親と子の対話」（66.0%）となっている。

このように男女間では、順位に差がみられ、特に「親と子の対話」については、女子の5位に対して男子は13位、逆に「法執行の公正」については、男子の5位に対して女子は9位、また、割合自体もそれぞれ4.8ポイント、4.9ポイントの差があり、相対的に意識差が目立つ状況にある。その他、「救急医療体制の確保」、「費用の心配のない診療」、「失業の不安の解消」については男子、「上水道の整備」については女子において、それぞれ重視する割合が強い状況にある。

一方、「非常に重要」とみるのが少ないのは、順位、割合に差はあるものの、男女とも「各種学校の充実」、「地域行事への参加」、「クラブ参加の機会」、「コミュニティ組織の充実」、「公民館・集会場の利用機会」で、この中では特に女子の「地域行事への参加」の割合が少ない状況にある。

表1-3 男女別にみた重要度の高い10項目

(単位：%、ポイント)

男 女 計			男		女		男女差 (男一女)
順位	項 目	割 合	順位	割 合	順位	割 合	
1	(1) 診療・治療の機会	71.6	3	71.5	1	71.6	△ 0.1
2	(50) 犯罪の防止	71.5	1	72.3	2	70.5	1.8
3	(4) 救急医療体制の確保	70.8	2	72.2	4	69.1	3.1
4	(51) 犯罪検挙の充実	70.0	4	70.2	3	69.7	0.5
5	(53) 法執行の公正	66.6	5	68.8	9	63.9	4.9
6	(14) 失業の不安の解消	65.8	6	67.1	7	64.3	2.8
7	(52) 暴力対策	65.2	7	65.8	6	64.4	1.4
8	(42) 物価の安定	64.2	8	64.6	10	63.8	0.8
9	(54) 親と子の対話	63.3	(13)	(61.2)	5	66.0	△ 4.8
10	(39) 歩行者の安全確保	62.4	(11)	(61.3)	(12)	(63.5)	△ 2.2
12	(31) 上水道の整備	62.1	(14)	60.6	8	64.1	△ 3.5
13	(40) 交通ルールの遵守	62.0	10	62.4	(15)	(61.5)	0.9
14	(2) 費用の心配のない診療	61.5	9	62.8	(17)	(60.0)	2.8

表1-4 男女別にみた重要度の低い5項目

男 女 計			男		女		男女差 (男一女)
順位	項 目	割 合	順位	割 合	順位	割 合	
下1	(62) 地域行事への参加	13.3	2	14.8	1	11.4	3.4
2	(11) 各種学校の充実	14.0	1	13.4	2	14.7	△ 1.3
3	(49) クラブ参加の機会	15.9	3	15.5	5	16.4	△ 0.9
4	(64) コミュニティ組織の充実	17.1	4	18.2	3	15.8	2.4
5	(63) 公民館・集会場の利用機会	17.7	5	18.9	4	16.2	2.7

注) 割合は、「非常に重要」と回答した割合である。

次に、年齢別に「非常に重要」とする項目をみると、10代と20代は共通して1位「犯罪の防止」、2位「犯罪検挙の充実」、3位「救急医療体制の確保」となっているが、30代は1位「診療・治療の機会」、2位「犯罪検挙の充実」、3位が「犯罪の防止」と「救急医療体制の確保」、また40代は1位「犯罪の防止」、2位「救急医療体制の確保」、3位「診療・治療の機会」、50代は1位「救急医療体制の確保」、2位が「診療・治療の機会」と「犯罪検挙の充実」、60代は1位「診療・治療の機会」、2位「犯罪の防止」、3位「年金制度の充実」となっている。このように各年齢とも医療面、防犯面を最重要視する状況にあるが、どちらかといえば、若年層は防犯面、高年層は医療面を重視する傾向が強く、また、60代で「年金制度の充実」が3位になっているのも特徴的といえよう。

その他 特徴的なことは、全体的には21位にしか位置しない「仕事のやりがい」を10代が5位、20代が9位と重視していること、また、50代が60代同様「年金制度の充実」を重視し、6位になっていることであろう。

さらに割合でみると、項目間で差はあるものの、項目全体では40代を中心に重視する割合は強く、また、個別（上位のみ）では、「診療・治療の機会」に対する割合が10代の57.7%に対し、60代は76.6%、「失業の不安の解消」が60代の55.2%に対し、40代は70.4%、「物価の安定」が10代の52.4%に対し、50代は67.5%というように年齢間で差が目立つ項目もみられる。

以上のように、生活に対する意識は、各年齢とも大体において共通する面がある一方、年齢という条件を反映して大きな差もみられ、また、平均的には40代を中心に生活意識は強い状況にある。

表1-5 年齢階級別にみた重要度の高い10項目

(単位：%，ポイント)

順位	平均の順位及び項目名 項目	平均の割合	平均の割合との差及び年齢内での順位					
			15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
1	(1)診療・治療の機会	71.6	△13.9⑨	△4.7④	3.0①	1.0③	4.6②	5.0①
2	(50)犯罪の防止	71.5	△4.1①	△0.8①	△1.0③	2.5①	1.8④	△0.1②
3	(4)救急医療体制の確保	70.8	△6.8③	△3.0③	△0.3③	2.9②	5.7①	△2.1④
4	(51)犯罪検挙の充実	70.0	△5.6②	△2.0②	0.6②	0.5④	6.2②	△3.3⑥
5	(53)法執行の公正	66.6	△7.8⑥	△3.9⑥	2.5⑤	0.8⑧	5.0⑤	△1.5⑦
6	(14)失業の不安の解消	65.8	△7.4⑦	△3.7⑦	3.0⑥	4.6⑤	4.3⑦	△10.6⑳
7	(52)暴力対策	65.2	△4.9④	△2.3⑤	△1.4⑮	3.3⑥	4.9⑦	△2.5⑨
8	(42)物価の安定	64.2	△11.8⑭	△2.3⑧	3.0⑦	2.5⑩	3.3⑩	△2.3⑫
9	(54)親と子の対話	63.3	△9.4⑪	△5.8⑪	2.9⑧	2.7⑫	3.7⑪	1.0⑧
10	(39)歩行者の安全確保	62.4	△10.0⑬	△8.3⑰	3.2⑪	3.5⑬	2.4⑮	5.1⑤
11	(56)円満な夫婦関係	62.3	△9.1⑫	△7.4⑭	3.6⑨	3.2⑭	4.0⑬	0.0⑪
12	(31)上水道の整備	62.1	△4.0⑯	△8.8⑱	2.4⑭	5.5⑦	1.0⑰	0.6⑨
13	(40)交通ルールの遵守	62.0	△10.7⑯	△5.8⑬	2.9⑬	2.3⑯	6.0⑨	△1.3⑬
14	(2)費用の心配のない診療	61.5	△15.8⑳	△3.2⑩	3.5⑫	3.5⑮	4.5⑭	△2.0⑯
15	(43)年金制度の充実	61.1	△14.7㉑	△11.8㉑	0.4⑰	5.3⑪	10.0⑥	8.7③
16	(55)青少年の非行防止	60.4	△18.1㉒	△10.9㉑	5.4⑩	6.7⑨	6.1⑫	△0.5⑮
17	(33)ゴミ、下水道の衛生処理	59.8	△4.4⑩	△5.1⑮	2.7⑰	4.0⑰	△0.3⑳	△1.5⑱
21	(15)仕事のやりがい	56.0	3.6⑮	2.7⑨	△2.3㉒	3.4⑳	△0.4㉑	△10.0㉑

平均(65項目)	42.2	38.4	39.4	43.3	45.0	44.0	41.3
----------	------	------	------	------	------	------	------

注)割合は、「非常に重要である」と回答した割合である。○内の数字は順位を示す。

最後に、地域別にみると、「非常に重要」とみるのが最も多いのは、北部と宮古、八重山においては「診療・治療の機会」、中部と那覇が「犯罪の防止」、南部が「救急医療体制の確保」となっている。また、2位については北部と宮古、八重山が「救急医療体制の確保」、中部と那覇が「犯罪検挙の充実」、南部が「診療・治療の機会」、3位は北部と南部、宮古が「犯罪の防止」（宮古は「犯罪検挙の充実」も同率3位）、中部が「診療・治療の機会」、那覇が「救急医療体制の確保」、八重山が「年金制度の充実」となっている。

このように八重山を除く地域は、ともに医療・防犯面を最重要視している状況にあるが、その中では北部と南部、宮古は防犯面よりは医療面をより重視し、中部と那覇は逆に医療面より防犯面をより重視しているという違いがみられる。また、八重山は医療面を最重要視しているが、防犯面については「犯罪の防止」が8位に位置する程度で、「年金制度の充実」が3位になるなど、他地域とは異なった状況にある。

以上は域内の順位からみた地域間の差であるが、割合自体で見ると、平均的には中部で高く、八重山、宮古で低いという状況にある。特に上位項目で見ると、「犯罪の防止」については、中部においては75.0%が「非常に重要」とみているが、八重山においては56.0%しかなく、また、「犯罪検挙の充実」、「法執行の公正」、「暴力対策」についても同様な状況がみられる。その他、「診療・治療の機会」については、北部での重視度合が最も高く、「失業の不安の解消」、「物価の安定」、「親と子の対話」については中部、次いで那覇や南部で重視度合が高い状況にある。

以上のように生活各方面に対する見方は、全体的には異なる状況がみられ、特に中部と八重山の差が目立つ状況にあるが、これらは生活環境の違いが作用しているともいえる。

表1-6 地域別にみた重要度の高い10項目

(単位:%,ポイント)

順位	県計の順位及び項目	県計の割合	県計の割合との差及び域内での順位					
			北部	中部	那覇	南部	宮古	八重山
1	(1)診療・治療の機会	71.6	3.0①	0.8③	△0.6④	△2.3②	△1.6①	0.0①
2	(50)犯罪の防止	71.5	△2.4③	3.5①	1.3①	△2.5③	△6.2③	△15.5⑧
3	(4)救急医療体制の確保	70.8	2.0②	0.1⑤	0.4③	△0.6①	△2.8②	△2.0②
4	(51)犯罪検挙の充実	70.0	△4.2④	2.9②	2.4②	△1.6⑤	△4.7③	△18.0⑫
5	(53)法執行の公正	66.6	△2.6⑤	4.5④	0.8⑤	△3.1⑦	△8.6⑪	△15.2⑫
6	(14)失業の不安の解消	65.8	△4.4⑦	3.7⑦	△1.2⑧	2.8④	△11.1⑮	△8.9⑦
7	(52)暴力対策	65.2	△2.0⑥	5.5⑥	0.7⑥	△5.8⑬	△5.9⑨	△18.4⑳
8	(42)物価の安定	64.2	△6.8⑩	3.2⑧	0.3⑨	0.0⑥	△5.5⑩	△5.5④
9	(54)親と子の対話	63.3	△5.9⑩	3.9⑨	1.2⑨	△0.2⑧	△9.3⑯	△13.8⑰
10	(39)歩行者の安全確保	62.4	△8.0⑮	3.2⑪	1.8⑪	△3.9⑮	△1.7⑦	△3.7④
11	(56)円満な夫婦関係	62.3	△7.9⑮	4.2⑩	1.5⑫	△1.5⑪	△9.0⑱	△9.1⑨
12	(31)上水道の整備	62.1	△8.1⑰	3.1⑫	0.6⑭	1.0⑧	△4.1⑪	△8.9⑨
13	(40)交通ルールの遵守	62.0	△8.7⑰	2.9⑬	3.4⑦	△4.7⑰	0.0⑤	△9.7⑪
14	(2)費用の心配のない診療	61.5	△0.8⑧	2.0⑮	1.3⑬	△1.4⑫	△10.8⑳	△3.7⑥
15	(43)年金制度の充実	61.1	△4.1⑫	2.9⑭	0.8⑮	△2.4⑭	△7.1⑯	△0.5③
16	(55)青少年の非行防止	60.4	△1.9⑨	3.6⑭	1.1⑯	△3.7⑰	△4.4⑬	△13.6⑳
17	(33)ゴミ、下水道の衛生処理	59.8	△6.1⑱	3.2⑰	0.9⑱	△2.5⑰	1.5⑥	△11.2⑱
18	(38)災害対策の充実	59.0	△3.8⑭	1.0⑳	1.9⑰	△1.0⑯	1.7⑦	△10.4⑱
19	(41)収入の増加	57.5	△6.8⑳	4.5⑱	△5.2㉓	4.2⑩	△0.2⑫	△6.1⑫
県計(65項目)		42.2	39.3	45.0	42.7	40.5	36.5	34.6

注)割合は、「非常に重要である」と回答した割合である。○内の数字は順位を示す。

2. 生活各面の満足度

65の生活関連項目のうち、満足度（「十分に満足」と「かなり満足」の計の割合である。以下同じ。）が最も高いのは、「上水道の整備」で73.5％、次いで「買物の利便」(54.4％)、「診療・治療の機会」(52.2％)とつづき、以下10位までの項目は表2-1のとおりとなっている。

前回調査と比較すると、まず、順位的には1、2位は同じであるが、3位以下は変動し、特に、前回6位であった「診療・治療の機会」が3位に、同じく「公衆電話の充実」が17位から9位に上昇し、逆に、前回3位であった「近隣とのつきあい」が6位へ、同じく「地域行事への参加」が8位から11位へ後退したのが目立っている。また、満足度合では前回は下回ったのは、上位10項目では「近隣とのつきあい」のみで、50％以上も3項目から5項目に増加した。

次に、全体的に比較すると、前回より満足度合が高まったのは、63項目中54項目で、その上昇度合が最も大きかったのは「公衆電話の充実」で、前回より9.4ポイント増加して42.4％へ、次いで「犯罪の防止」が8.9ポイント増(37.7％)「診療・治療の機会」が7.0ポイント増(52.2％)とつづき、以下、上位10項目は表2-2のとおりである。

一方、前回より満足度合が低下したのは9項目で、「地域行事への参加」をはじめ、「収入の増加」「失業の不安の解消」等、表2-3のとおりとなっている。

以上のように、生活各面における満足度は、全体的に4年前の状況を大きく上回り、生活環境が着実に改善されてきたことを示している。

表2-1 満足度の高い10項目

順位	項目	満足の割合		増減 (1)-(2)
		今回(1)	前回(2)	
1	(31)上水道の整備	73.5	73.1①	0.4
2	(29)買物の利便	54.4	52.9②	1.5
3	(1)診療・治療の機会	52.2	45.2⑥	7.0
4	(56)円満な夫婦関係	50.8	48.5⑤	2.3
5	(54)親と子の対話	50.6	49.0④	1.6
6	(61)近隣とのつきあい	48.1	50.6③	△2.5
7	(28)交通の便	45.4	44.4⑦	1.0
8	(27)良好な住宅環境	43.0	42.7⑨	0.3
9	(30)公衆電話の充実	42.4	33.0⑱	9.4
10	(33)ゴミ、下水道の衛生処理	40.6	38.9⑩	1.7
(11)	(62)地域行事への参加	40.4	43.0⑧	△2.6

表2-2 満足度が増加した上位10項目

順位	項目	満足の割合		増減 (1)-(2)
		今回(1)	前回(2)	
1	(30)公衆電話の充実	42.4	33.0	9.4
2	(50)犯罪の防止	37.7	28.8	8.9
3	(1)診療・治療の機会	52.2	45.2	7.0
4	(6)小中学校の施設内容	38.1	31.7	6.4
5	(7)高校の施設内容	30.5	25.0	5.5
5	(53)法執行の公正	23.7	18.2	5.5
7	(52)暴力対策	22.5	17.1	5.4
8	(32)公園の整備	27.9	23.0	4.9
9	(4)救急医療体制の確保	38.0	33.4	4.6
10	(51)犯罪検挙の充実	22.1	17.9	4.2

注) 満足とは「十分満足」と「かなり満足」の計である。以下同じ。○内は前回の順位

付表 2-1 生活各面の満足度(構成比)

(県計)

(単位:%)

項目	区分	(単位:%)							計
		じゅうた たされ てゐる	か満い たされ りてゐる	どい えな い	あ満い たされ りてゐる	ほ満い たされ りてゐる	わから ない	無 答	
(1) 診療・治療の機会		14.17	38.01	20.25	19.40	4.07	3.25	0.86	100.0
(2) 費用の心配のない診療		10.26	25.92	25.66	24.77	8.84	3.62	0.93	100.0
(3) 病氣予防・健康相談		9.14	28.80	27.08	22.23	6.98	4.66	1.12	100.0
(4) 救急医療体制の確保		10.33	27.68	26.18	19.62	5.00	9.74	1.45	100.0
(5) 幼稚園の施設内容		7.16	27.45	25.96	13.20	2.61	21.89	1.72	100.0
(6) 小中学校の施設内容		7.87	30.21	24.51	12.68	2.20	20.89	1.64	100.0
(7) 高校の施設内容		6.30	24.24	26.00	12.20	2.76	26.37	2.13	100.0
(8) 教育の内容・質の向上		4.55	17.57	32.64	16.04	4.96	21.71	2.54	100.0
(9) 特殊教育の充実		3.99	12.61	23.31	20.03	9.36	28.87	1.83	100.0
(10) 図書館・独学施設の整備		3.80	12.46	22.01	24.88	15.40	19.96	1.49	100.0
(11) 各種学校の充実		2.16	8.06	22.64	21.41	23.65	20.22	1.86	100.0
(12) 文化遺産・史跡の保護		3.62	20.48	30.66	17.46	7.46	18.84	1.49	100.0
(13) 伝統工芸の振興		3.17	16.82	28.42	17.49	9.14	22.64	2.31	100.0
(14) 失業の不安の解消		4.89	7.42	18.35	27.68	30.85	9.55	1.27	100.0
(15) 仕事のやりがい		6.27	15.26	22.01	27.42	20.66	7.20	1.19	100.0
(16) 職場の安全確保		6.15	24.21	33.72	11.15	3.99	19.10	1.68	100.0
(17) 男女賃金格差の解消		4.33	9.92	29.17	21.15	15.67	18.28	1.49	100.0
(18) 高齢者・身障者の就業機会		2.35	4.03	16.60	25.25	29.73	20.14	1.90	100.0
(19) 職業、居住地選択の自由		3.92	8.13	18.09	24.95	29.21	13.61	2.09	100.0
(20) 転職の機会		2.28	3.73	19.43	21.93	33.12	16.93	2.57	100.0
(21) 県内就職の機会		7.87	14.29	23.13	23.54	17.27	11.71	2.20	100.0
(22) 定年制の延長		3.47	6.34	31.37	16.41	11.71	28.31	2.39	100.0
(23) 持家の確保		14.29	20.14	16.71	19.25	19.66	7.94	2.01	100.0
(24) 公共住宅の整備		2.61	8.69	22.19	21.56	18.69	23.69	2.57	100.0
(25) 一人一部屋の確保		8.84	17.90	19.43	21.48	23.20	6.86	2.28	100.0
(26) 地価の安定		3.73	5.37	22.38	17.53	28.09	20.40	2.50	100.0
(27) 良好な住宅環境		12.64	30.40	19.28	20.25	12.68	2.91	1.83	100.0
(28) 交通の便		12.94	32.41	17.53	18.43	13.32	3.13	2.24	100.0
(29) 買物の利便		13.61	40.77	17.90	15.93	7.65	2.16	1.98	100.0
(30) 公衆電話の充実		11.64	30.73	21.67	17.83	12.42	3.80	1.90	100.0
(31) 上水道の整備		28.31	45.21	11.34	8.58	3.21	1.53	1.83	100.0
(32) 公園の整備		8.06	19.84	17.83	23.91	23.42	5.00	1.94	100.0
(33) ゴミ、下水道の衛生処理		10.63	29.95	19.13	21.19	13.50	4.29	1.31	100.0
(34) 親しめる自然環境		10.56	23.76	19.84	22.94	18.61	2.76	1.53	100.0
(35) 緑地の確保		6.86	18.02	22.08	29.21	19.21	2.87	1.75	100.0
(36) 公害防止の充実		6.68	21.75	23.69	25.36	17.23	3.51	1.79	100.0
(37) 基地の安全管理の確保		7.16	10.59	23.87	19.84	22.04	14.36	2.13	100.0
(38) 災害対策の充実		5.56	20.44	32.30	20.96	7.24	11.79	1.72	100.0
(39) 歩行者の安全確保		4.03	12.35	22.94	36.78	18.76	3.17	1.98	100.0
(40) 交通ルールの遵守		4.07	11.71	25.77	34.35	17.46	4.14	2.50	100.0
(41) 収入の増加		2.57	6.83	22.04	31.48	25.10	9.36	2.61	100.0
(42) 物価の安定		2.42	4.10	21.63	33.68	27.90	7.80	2.46	100.0
(43) 年金制度の充実		3.39	9.70	24.99	23.76	15.74	19.77	2.65	100.0
(44) 消費生活の省資源化		2.91	7.09	31.63	24.73	12.42	18.65	2.57	100.0
(45) 商品苦情相談の充実		1.98	4.74	20.70	25.14	22.86	21.97	2.61	100.0
(46) 週休2日制、労働時間の短縮		2.16	6.45	24.99	21.00	26.18	16.78	2.42	100.0
(47) 長期休暇の取得		4.25	9.06	21.67	19.25	29.02	14.47	2.28	100.0
(48) 運動施設の利用機会		3.92	19.28	21.56	24.17	20.22	8.62	2.24	100.0
(49) クラブ参加の機会		2.42	10.44	24.65	22.12	21.26	17.12	1.98	100.0
(50) 犯罪の防止		8.39	29.32	28.57	19.28	8.50	4.36	1.57	100.0
(51) 犯罪検挙の充実		5.11	17.01	31.29	24.73	8.54	11.26	2.05	100.0
(52) 暴力対策		4.89	17.64	29.21	25.89	8.99	10.78	2.61	100.0
(53) 法執行の公正		5.37	18.35	30.77	15.03	6.75	20.70	3.02	100.0
(54) 親と子の対話		12.98	37.60	26.11	11.45	3.21	6.30	2.35	100.0
(55) 青少年の非行防止		7.65	16.19	24.10	25.36	13.32	10.67	2.72	100.0
(56) 円満な夫婦関係		17.34	33.42	21.41	6.19	2.39	15.81	3.43	100.0
(57) 家事、育児、教育相談の充実		3.66	10.93	26.74	22.12	12.20	22.16	2.20	100.0
(58) 福祉サービスの充実		3.32	6.75	23.05	26.37	14.81	23.76	1.94	100.0
(59) 生活保障の確保		3.73	8.28	24.10	26.82	13.95	20.63	2.50	100.0
(60) 保育の機会		4.77	21.48	22.45	19.77	10.00	18.54	2.98	100.0
(61) 近隣とのつきあい		9.85	38.23	31.15	9.18	3.06	6.12	2.42	100.0
(62) 地域行事への参加		7.98	32.41	32.97	10.56	4.48	9.74	1.86	100.0
(63) 公民館・集会場の利用機会		8.91	30.62	27.34	13.35	7.91	9.47	2.39	100.0
(64) コミュニティ組織の充実		6.27	22.68	32.00	13.17	6.68	16.60	2.61	100.0
(65) 住民参加		3.77	10.00	29.77	23.69	14.02	17.01	1.75	100.0
計		6.77	18.65	24.28	20.84	14.32	13.08	2.06	100.0

付表 2-2 生活各面の満足度の前回比較(構成比差)

(県計)

(単位:ポイント)

項目	区分	じ満足 い う ふ ん て る	か満足 い な さ れ て る	いい え な い	あ満足 い ま ま り て い	は満足 い な ん ど て い	わから ない	無 答
(1) 診療・治療の機会		1.66	5.27	0.51	△5.74	△2.06	0.49	0.10
(2) 費用の心配のない診療		△0.01	1.15	1.88	△0.39	△0.91	△0.93	△0.47
(3) 病気の予防・健康相談		0.70	3.42	0.76	△2.29	△1.46	△0.24	△0.53
(4) 救急医療体制の確保		2.13	2.45	2.94	△3.72	△2.80	0.34	△0.74
(5) 幼稚園の施設内容		0.56	3.40	△0.06	△3.27	△1.62	2.17	△0.79
(6) 小中学校の施設内容		1.54	4.80	△0.01	△4.31	△1.32	1.02	△1.19
(7) 高校の施設内容		1.72	3.88	1.09	△3.63	△1.65	0.59	△1.44
(8) 教育の内容・質の向上		0.51	2.70	△0.74	△0.36	△1.22	0.49	△0.56
(9) 特殊教育の充実		0.27	2.15	2.66	△4.17	△3.07	3.54	△0.83
(10) 図書館・独学施設の整備		0.97	3.23	2.88	△1.71	△7.00	2.90	△0.82
(11) 各種学校の充実		△0.28	△0.33	1.81	△0.35	△2.22	2.67	△0.72
(12) 文化遺産・史跡の保護		△0.29	0.71	2.37	△3.02	△0.52	2.20	△1.09
(13) 伝統工芸の振興		0.04	1.46	△0.26	0.04	△1.30	0.38	0
(14) 失業の不安の解消		0.02	△1.02	2.69	△1.71	△1.62	1.87	△0.01
(15) 仕事のやりがい		0.98	2.11	3.94	△0.25	△4.65	△0.87	△0.85
(16) 職場の安全確保		0.64	3.48	2.68	△2.22	△0.96	△1.43	△1.69
(17) 男女賃金格差の解消		0.10	0.91	3.00	△0.22	△2.25	△0.21	△0.87
(18) 高齢者・身障者の就業機会		0.04	1.22	1.85	2.06	△4.76	0.99	△0.98
(19) 職業、居住地選択の自由		0.33	0.84	0.76	2.82	△3.51	0.07	△0.86
(20) 転職の機会		0.14	0.31	1.61	1.72	△1.94	△0.52	△0.83
(21) 県内就職の機会		1.08	0.80	1.76	△0.66	△1.05	△0.60	△0.88
(22) 定年制の延長		0.96	0.06	3.77	△0.08	△1.41	△1.04	△1.62
(23) 持家の確保		0.95	△0.51	0.73	0.37	1.15	△0.73	△1.44
(24) 公共住宅の整備		0.25	2.51	1.02	△0.57	0.89	△2.33	△1.15
(25) 一人一部屋の確保		-	-	-	-	-	-	-
(26) 地価の安定		0.92	0.84	2.64	0.96	△1.50	△1.46	△1.19
(27) 良好な住宅環境		△1.34	1.69	△0.66	1.84	1.01	△0.64	△1.30
(28) 交通の便		1.89	△0.85	0.40	△0.94	0.52	0.50	△1.01
(29) 買物の利便		0.61	0.91	△0.54	0.35	0.09	△0.03	△0.92
(30) 公衆電話の充実		1.94	7.39	3.16	△6.05	△5.80	0.97	△1.28
(31) 上水道の整備		0.66	△0.21	△0.40	0.97	0.63	△0.24	△0.71
(32) 公園の整備		1.22	3.64	0.82	△0.04	△5.70	1.36	△0.96
(33) ゴミ、下水道の衛生処理		1.32	0.33	0.40	0.49	△2.16	0.67	△0.78
(34) 親しめる自然環境		0.29	0	1.08	0.71	△1.45	0.18	△0.69
(35) 緑地の確保		0.29	1.21	3.22	0.38	△2.97	△0.53	△1.28
(36) 公害防止の充実		0.03	△0.26	1.85	1.60	△1.48	△0.50	△0.82
(37) 基地の安全管理の確保		1.33	△1.52	2.28	3.67	△1.30	△2.45	△1.42
(38) 災害対策の充実		0.34	1.02	4.31	0.38	△2.95	△1.18	△1.48
(39) 歩行者の安全確保		0.76	3.27	2.93	2.76	△7.63	△0.60	△1.05
(40) 交通ルールの遵守		-	-	-	-	-	-	-
(41) 収入の増加		△0.14	△1.91	△1.69	5.43	0.90	△1.15	△0.96
(42) 物価の安定		0.70	1.66	9.12	7.66	△18.58	0.96	△1.01
(43) 年金制度の充実		0.73	△0.22	1.21	0.94	△0.78	△0.27	△1.07
(44) 消費生活の省資源化		0.65	0.05	2.88	0.19	△2.30	0.48	△1.44
(45) 商品苦情相談の充実		0.26	1.49	3.15	1.43	△6.31	1.64	△1.21
(46) 週休2日制、労働時間の短縮		0.19	1.28	2.34	3.25	△2.77	△1.81	△1.74
(47) 長期休暇の取得		△0.55	△1.53	0.70	3.03	0.34	0.19	△1.54
(48) 運動施設の利用機会		0.08	3.62	3.83	1.47	△8.02	0.45	△1.03
(49) クラブ参加の機会		0.16	2.46	4.39	1.74	△9.34	1.86	△1.00
(50) 犯罪の防止		3.02	5.88	0.85	△3.44	△4.84	△0.29	△0.84
(51) 犯罪検挙の充実		1.34	2.95	2.90	0.33	△3.25	△2.87	△1.05
(52) 暴力対策		1.57	3.88	2.28	△0.62	△3.81	△1.06	△1.40
(53) 法執行の公正		1.73	3.80	1.38	△0.55	△0.59	△2.98	△1.58
(54) 親と子の対話		1.38	0.20	0.19	△0.34	△0.78	1.15	△1.34
(55) 青少年の非行防止		1.03	0.80	2.26	△2.09	△1.45	1.51	△1.47
(56) 円満な夫婦関係		1.46	0.80	△0.70	1.22	△0.24	△0.27	△1.57
(57) 家事、育児、教育相談の充実		0.31	1.25	3.50	△1.66	△3.33	1.80	△1.47
(58) 福祉サービスの充実		0.39	0.50	4.27	△0.96	△4.81	2.44	△1.56
(59) 生活保障の確保		1.07	0.82	4.60	0.45	△4.81	0.27	△1.86
(60) 保育の機会		0.14	3.73	2.39	△1.55	△4.20	1.80	△1.48
(61) 近隣とのつきあい		△0.29	△2.27	2.49	1.08	0.30	1.00	△1.84
(62) 地域行事への参加		△0.51	△2.06	3.45	0.05	△0.62	1.39	△1.24
(63) 公民館・集会場の利用機会		0.02	2.48	1.22	△0.73	△2.13	0.61	△1.06
(64) コミュニティ組織の充実		1.03	△1.20	3.34	△0.62	△1.00	△0.31	△0.96
(65) 住民参加		0.89	1.19	2.86	△0.71	△2.52	0.12	△1.48
計		0.65	1.34	1.92	0.07	△2.39	△0.03	△1.08

注) 前回は54年12月調査、(40)一人一部屋の確保、(40)交通ルールの遵守は、今回から調査した項目である。

表 2 - 3 満足度が減少した項目

順位	項目	満足 の 割合		増 減 (1) - (2)
		今 回 (1)	前 回 (2)	
1	(62) 地域行事への参加	40.4 %	43.0 %	△ 2.6 ポイント
2	(61) 近隣とのつきあい	48.1	50.6	△ 2.5
3	(47) 長期休暇の取得	13.3	15.4	△ 2.1
4	(41) 収入の増加	9.4	11.4	△ 2.0
5	(14) 失業の不安の解消	12.3	13.3	△ 1.0
6	(11) 各種学校の充実	10.2	10.8	△ 0.6
7	(36) 公害防止の充実	28.4	28.7	△ 0.3
8	(37) 基地の安全管理の確保	17.8	17.9	△ 0.1
8	(64) コミュニティー組織の充実	29.0	29.1	△ 0.1

次に、男女別に満足度の状況をみると、男女とも1位は「上水道の整備」、2位は「買物の利便」となっている。また、3位は男子が「円満な夫婦関係」、女子は「診療・治療の機会」で、以下10位までの項目は表2-4のとおりで、順位はいくぶん異なるが、男女とも同項目が上位を占めている。

また、満足度合でみると、上位10項目では女子の満足度が総じて高く、特に「公衆電話の充実」、「良好な住宅環境」、「親と子の対話」、「診療・治療の機会」の差が大きい状況にある。

表 2 - 4 男女別にみた満足度の高い10項目

(単位：％，ポイント)

順位	男 女 計		男		女		男女差 男-女
	項目	割合	順位	割合	順位	割合	
1	(31) 上水道の整備	73.5	1	72.7	1	74.6	△ 1.9
2	(29) 買物の利便	54.4	2	54.2	2	54.6	△ 0.4
3	(1) 診療・治療の機会	52.3	4	50.7	3	54.0	△ 3.3
4	(56) 円満な夫婦関係	50.8	3	51.1	5	50.4	0.7
5	(54) 親と子の対話	50.6	5	49.0	4	52.6	△ 3.6
6	(61) 近隣とのつきあい	48.1	6	47.4	6	49.0	△ 1.6
7	(28) 交通の便	45.4	7	44.8	7	46.0	△ 1.2
8	(27) 良好な住宅環境	43.0	8	41.3	9	45.2	△ 3.9
9	(30) 公衆電話の充実	42.4	12	(39.7)	8	45.6	△ 5.9
10	(33) ゴミ、下水道の衛生処理	40.6	9	40.6	10	40.5	0.1
11	(62) 地域行事への参加	40.4	9	40.6	11	(40.1)	0.5

次に、年齢別に満足度の状況をみると、1位は「上水道の整備」で、各年齢とも共通している。2位については10代と20代、40代が「買物の利便」、30代と50代は「円満な夫婦関係」、60代は「近隣とのつきあい」、また、3位については10代が「近隣とのつきあい」、20代と50代、60代が「診療・治療の機会」、30代が「親と子の対話」、40代が「円満な夫婦関係」で、以下、10位までの項目は表2-5のとおりとなっているが、1位の「上水道の整備」を除き、年齢間の順位は異なる状況にある。

以上は年齢ごとの順位からみた状況であるが、満足度合でみると、「上水道の整備」、「診療・治療の機会」、「円満な夫婦関係」、「親と子の対話」については50代、「買物の利便」については40代、「近隣とのつきあい」、「交通の便」、「良好な住宅環境」、「ゴミ、下水道の衛生処理」

については60代、「公衆電話の充実」については10代において、それぞれ満足度が最も高い状況にある。その他、地域活動面については60代、医療面については50代、学校施設面については10代で満足度が高い状況にある。

以上のように、生活各面に対する満足度は、年齢間で差がみられ、しかも「円満な夫婦関係」のように、20代の満足度は36.8%であるが50代では63.1%というように、大きな差がみられる項目もある。また、全体的にみると、生活の満足度は、若年層より高年層が高い状況にある。

表 2 - 5 年齢階級別にみた満足度の高い10項目

(単位：％，ポイント)

順位	平均の順位及び項目名 項 目	平均の 割 合	平均の割合との差及び年齢内での順位					
			15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
1	(31) 上水道の整備	73.5	△ 2.7 ①	△ 5.5 ①	△ 1.8 ①	3.6 ①	5.4 ①	1.5 ①
2	(29) 買物の利便	54.3	△ 0.4 ②	△ 4.6 ②	△ 5.8 ④	6.1 ②	5.4 ④	2.8 ④
3	(1) 診療・治療の機会	52.3	△ 9.0 ⑪	△ 5.2 ③	△ 7.1 ⑤	△ 1.0 ⑥	8.3 ③	5.2 ③
4	(56) 円満な夫婦関係	50.8	△12.6 ⑮	△14.0 ⑧	1.9 ②	7.6 ③	12.3 ②	0.4 ⑥
5	(54) 親と子の対話	50.6	△ 5.7 ⑧	△ 6.6 ④	△ 0.5 ③	5.2 ④	6.4 ⑥	1.0 ⑧
6	(61) 近隣とのつきあい	48.1	0.6 ③	△11.7 ⑨	△ 6.7 ⑧	5.1 ⑤	10.9 ⑤	15.7 ②
7	(28) 交通の便	45.4	1.4 ⑥	△ 1.9 ⑤	△ 3.2 ⑦	2.1 ⑧	1.7 ⑩	2.7 ⑪
8	(27) 良好な住宅環境	43.0	0.5 ⑩	△ 4.9 ⑦	△ 2.9 ⑨	0.9 ⑫	3.3 ⑪	9.7 ⑤
9	(30) 公衆電話の充実	42.4	2.6 ⑦	△ 4.1 ⑥	0.8 ⑥	1.4 ⑭	△ 0.4 ⑮	△ 0.3 ⑯
10	(33) ゴミ，下水道の衛生処理	40.6	△ 7.3 ⑳	△ 8.0 ⑭	△ 3.4 ⑪	4.6 ⑨	6.7 ⑨	10.6 ⑥
11	(62) 地域行事への参加	40.4	△ 4.4 ⑱	△ 9.0 ⑰	△ 2.6 ⑩	7.5 ⑦	1.6 ⑮	9.2 ⑨
12	(63) 公民館，集会場の利用機会	39.5	△ 2.4 ⑰	△10.2 ⑳	△ 2.8 ⑫	4.3 ⑬	6.6 ⑫	9.3 ⑩
13	(6) 小中学校の施設内容	38.1	9.8 ④	△ 1.7 ⑨	△ 3.7 ⑬	5.6 ⑮	△ 3.4 ⑱	△ 4.4 ⑳
14	(4) 救急医療体制の確保	38.0	9.2 ⑤	△ 6.6 ⑰	△ 6.8 ⑰	△ 0.3 ⑰	9.1 ⑩	7.6 ⑭
15	(3) 病気予防，健康相談	37.9	0.3 ⑮	△13.1 ⑳	△ 7.4 ⑱	6.7 ⑩	13.3 ⑦	8.1 ⑬
18	(5) 幼稚園の施設内容	34.6	10.0 ⑨	△ 2.6 ⑯	△ 0.2 ⑬	2.1 ⑳	△ 3.3 ㉑	△ 4.5 ㉒
19	(23) 持家の確保	34.4	△11.2 ㉓	△15.5 ㉔	△ 6.6 ㉒	9.7 ⑪	15.3 ⑧	12.4 ⑫
平 均 (65 項目)		25.4	25.7	21.4	23.1	27.9	28.7	28.0

注) 割合は「じゅうぶん満たされている」と「かなり満たされている」の割合の計である。

○内は順位を示す。

最後に、地域別に満足度の状況を見ると、1位はやはり「上水道の整備」で各地域とも共通している。2位については、北部と八重山が「親しめる自然環境」、中部と那覇が「買物の利便」、南部と宮古が「近隣とのつきあい」、3位については、北部が「近隣とのつきあい」、中部が「犯罪検挙の充実」、那覇が「診療・治療の機会」、南部と八重山が「円満な夫婦関係」、宮古が「良好な住宅環境」で、以下、10位までの項目は表2-6のとおりとなっている。

このように、地域ごとの順位は、一部を除き異なる状況にあるが、さらに満足度合でみると相当の差がみられる。即ち、「上水道の整備」については各地域とも1位であったが、その満足度合は宮古が相当高く、南部が相対的に低い。また、「買物の利便」等の都市機能の満足度については、那覇や中部に比べ、他地域は総じて低く、特に「買物の利便」については北部、「診療・治療の機会」と「交通の便」、「ゴミ、下水道の衛生処理」については八重山、「公衆電話の充実」については宮古において、それぞれ相当低い。逆に、「円満な夫婦関係」や「近隣とのつきあい」、「良好な住宅環境」については、那覇や中部よりは他地域の満足度が高く、特に「円満な夫婦関係」については八重山、「近隣とのつきあい」と「良好な住宅環境」については宮古で相当高い。その他、地域活動、自然環境、住宅についても那覇や中部より、他地域での満足度が相当高い。また、「犯罪検挙の充実」については中部での満足度が相当高く、那覇が最も低いという状況もみられる。

表2-6 地域別にみた満足度の高い10項目

(単位：％，ポイント)

県計の順位及び項目		県計の割合	県計の割合との差及び域内での順位					
順位	項目		北部	中部	那覇	南部	宮古	八重山
1	上水道の整備	73.5	△ 1.4 ①	△ 1.7 ①	1.0 ①	△ 6.5 ①	20.5 ①	10.9 ①
2	買物の利便	54.4	△ 12.5 ⑫	0.4 ②	8.6 ②	△ 6.0 ⑧	△ 5.7 ⑩	1.6 ⑤
3	診療・治療の機会	52.3	△ 5.1 ⑨	2.1 ④	5.2 ③	△ 4.0 ⑨	△ 8.2 ⑫	△ 13.7 ⑬
4	円満な夫婦関係	50.8	0.7 ⑤	△ 2.0 ⑥	△ 0.5 ⑥	1.5 ③	5.2 ⑥	6.1 ③
5	親と子の対話	50.6	△ 3.5 ⑩	△ 0.6 ⑤	1.0 ④	0.8 ④	4.1 ⑦	△ 2.0 ⑦
6	近隣とのつきあい	48.1	9.3 ③	△ 3.8 ⑨	△ 7.4 ⑩	6.7 ②	18.6 ②	7.9 ④
7	交通の便	45.4	△ 6.1 ⑭	△ 1.1 ⑧	6.0 ⑤	0.7 ⑩	△ 2.7 ⑬	△ 15.1 ⑳
8	良好な住宅環境	43.0	5.2 ⑧	△ 3.0 ⑫	△ 7.9 ⑭	7.9 ⑤	19.0 ③	10.2 ⑥
9	公衆電話の充実	42.4	△ 11.5 ㉓	2.4 ⑦	6.2 ⑦	△ 2.3 ⑬	△ 17.1 ㉓	△ 2.9 ⑫
10	ゴミ、下水道の衛生処理	40.6	△ 2.7 ⑯	△ 0.9 ⑭	6.7 ⑧	△ 5.0 ⑱	△ 2.6 ㉑	△ 6.7 ⑯
(11)	地域行事への参加	40.4	10.0 ⑥	0.6 ⑩	△ 12.0 ㉑	8.2 ⑦	12.3 ⑧	0.0 ⑪
(12)	公民館・集会場の利用機会	39.5	13.5 ④	1.2 ⑪	△ 13.7 ㉒	10.5 ⑥	11.2 ⑨	△ 9.2 ㉓
(14)	救急医療体制の確保	38.0	△ 4.2 ⑱	△ 0.3 ⑮	3.1 ⑨	△ 1.1 ⑯	2.0 ⑱	△ 5.9 ㉑
(16)	犯罪の防止	37.7	10.8 ⑦	△ 4.8 ㉑	△ 2.7 ⑮	3.8 ⑫	7.6 ⑪	9.1 ⑧
(19)	持家の確保	34.4	1.6 ⑱	0.7 ⑱	△ 8.4 ㉓	0.5 ㉒	24.3 ④	11.5 ⑨
(20)	親しめる自然環境	34.3	32.6 ②	△ 7.7 ㉓	△ 16.7 ㉓	7.7 ⑪	23.0 ⑤	38.2 ②
(29)	緑地の確保	24.9	19.2 ⑪	△ 6.3 ⑳	△ 9.7 ㉒	10.4 ㉑	9.8 ㉒	18.2 ⑩
(36)	犯罪検挙の充実	22.1	3.3 ㉑	32.5 ③	△ 4.6 ⑳	1.1 ㉒	8.6 ㉑	10.9 ⑱

3. 生活各面の不満度

生活関連の不満の状況をみると、65項目のうち、最も不満（注1）の多いのは、前回に続き「物価」に関する事で、その割合は少なくなったものの、依然61.6%の人が不満を示している。不満の2位は「失業の不安の解消」、3位が「収入の増加」で、以下10位までの項目は表3-1のとおりとなっている。

前回に比べると、上位10項目では「収入の増加」と「長期休暇の取得」を除き、不満足は低下したが、「収入の増加」は前回の13位から3位へ、「長期休暇の取得」が20位から10位へ上がり、不満度が増大した状況にある。

また、全体的にみると、63項目のうち、50項目で不満が少なくなったが、13項目については不満が多くなった状況にある。

不満の減少割合が大きかったものをみると、まず、「公衆電話の充実」で、前回より11.8ポイント減、次いで「物価の安定」（10.9ポイント減）、「図書館・独学施設の整備」（8.7ポイント減）とつづき、以下10位までの項目は表3-2のとおりとなっている。

一方、不満の増加が大きかったのは、「収入の増加」で、前回より6.3ポイント増、次いで「長期休暇の取得」（3.4ポイント増）、以下上位5項目は表3-3のとおりである。

以上のように、生活各面に対する不満度は、全体的に少なくなったが、収入や休暇、住宅、基地関係については増加し、目立つ状況にある。

表3-1 不満度の高い10項目

順位	項目	不満の割合		増減 (1)-(2)
		今回(1)	前回(2)	
1	(42)物価の安定	61.6%	72.5①%	ポイント △10.9
2	(14)失業の不安の解消	58.5	61.9②	△3.4
3	(41)収入の増加	56.6	50.3⑬	6.3
4	(39)歩行者の安全確保	55.5	60.4③	△4.9
5	(20)転職の機会	55.1	55.3⑤	△0.2
6	(18)高齢者・身障者の就業機会	55.0	57.7④	△2.7
7	(19)職業、居住地選択の自由	54.2	54.8⑥	△0.6
8	(40)交通ルールの遵守	51.8	-	-
9	(25)緑地の確保	48.4	51.0⑩	△2.6
10	(47)長期休暇の取得	48.3	44.9⑳	3.4
(13)	(32)公園の整備	47.3	53.1⑦	△5.8
(11)	(15)仕事のやりがい	48.1	53.0⑧	△4.9
(12)	(45)商品苦情相談の充実	48.0	52.9⑨	△4.9

注) 不満とは「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」の計である。○内は順位を示す。

表3-2 不満度が減少した上位10項目

順位	項目	不満の割合		増減 (1)-(2)
		今回(1)	前回(2)	
1	(30)公衆電話の充実	30.3%	42.1%	ポイント △11.8
2	(42)物価の安定	61.6	72.5	△10.9
3	(10)図書館・独学施設の整備	40.3	49.5	△8.7
4	(50)犯罪の防止	27.8	36.0	△8.2
5	(1)診療・治療の機会	23.5	31.2	△7.7
6	(49)クラブの参加機会	43.4	51.0	△7.6
7	(9)特殊教育の充実	29.4	36.6	△7.2
8	(4)救急医療体制の確保	24.6	31.1	△6.5
9	(48)運動施設の利用機会	44.4	50.9	△6.5
10	(32)公園の整備	47.3	53.1	△5.8

表3-3 不満度が増加した上位5項目

順位	項目	不満の割合		増減 (1)-(2)
		今回(1)	前回(2)	
1	(41)収入の増加	56.6%	50.3%	ポイント 6.3
2	(47)長期休暇の取得	48.3	44.9	3.4
3	(27)良好な住宅環境	32.9	30.1	2.8
4	(37)基地の安全管理の確保	41.9	39.5	2.4
5	(31)上水道の整備	11.8	10.2	1.6

次に、男女別の不満の状況をみると、不満の1位は「物価の安定」、2位が「失業の不安の解消」、3位が「収入の増加」と男女とも共通している。4位から10位までの項目は表3-4のとおりとなっているが、不満の割合は総じて女子より男子において高い状況にある。

表3-4 男女別にみた不満度の高い10項目

(単位：％，ポイント)

男 女 計			男		女		男女差
順位	項 目	割 合	順位	割 合	順位	割 合	男-女
1	(42) 物 価 の 安 定	61.6	1	61.0	1	62.3	△1.3
2	(14) 失 業 の 不 安 の 解 消	58.5	2	59.7	2	57.1	2.6
3	(41) 収 入 の 増 加	56.6	3	57.8	3	55.1	2.7
4	(39) 歩 行 者 の 安 全 確 保	55.5	5	56.7	4	54.1	2.6
5	(20) 転 職 の 機 会	55.1	4	57.1	7	52.5	4.6
6	(18) 高 齢 者 ・ 身 障 者 の 就 業 機 会	55.0	6	55.8	6	54.0	1.8
7	(19) 職 業 ， 居 住 地 選 択 の 自 由	54.2	8	54.2	4	54.1	0.1
8	(40) 交 通 ル ー ル の 遵 守	51.8	7	54.3	9	48.8	5.5
9	(35) 緑 地 の 確 保	48.4	10	49.6		(47.0)	2.6
10	(47) 長 期 休 暇 の 取 得	48.3	9	52.2		(43.4)	8.8
11	(15) 仕 事 の や り が い	48.1		(47.2)	8	49.2	△2.0
13	(32) 公 園 の 整 備	47.3		(46.8)	10	48.0	△1.2

次に、年齢別に不満の状況をみると、不満の1位は10代と20代が「失業の不安の解消」、30代と40代、60代が「物価の安定」、50代が「収入の増加」、また、2位については10代が「高齢者・身障者の就業機会」、20代と50代が「物価の安定」、30代が「歩行者の安全確保」、40代と60代が「収入の増加」と年齢間で不満の順位が異なる状況にある。なお、10位までの不満項目は表3-5のとおりである。

また、不満度合でみると、「物価の安定」については30代の不満が最も多く、また、「失業の不安の解消」については20代、「収入の増加」については30代から50代において不満が多い状況にある。

以上のように、年齢によって不満の順位、不満度合に差がみられるが、全体的には30代を中心に不満度は高く、10代や60代においては相対的に低い状況にある。

表 3 - 5 年齢階級別にみた不満度の高い 10 項目

(単位：％，ポイント)

平均の順位及び項目名		平均の割合	平均の割合との差及び年齢内での順位					
順位	項目		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
1	(42) 物 価 の 安 定	61.6	△24.1 ⑬	△2.7 ②	7.8 ①	6.8 ①	0.6 ②	△ 8.0 ①
2	(14) 失業の不安の解消	58.5	△ 9.4 ①	3.2 ①	1.2 ④	2.4 ③	2.7 ③	△ 8.9 ③
3	(41) 収 入 の 増 加	56.6	△23.3 ⑭	△5.1 ⑩	6.1 ③	5.3 ②	6.1 ①	△ 5.0 ②
4	(39) 歩行者の安全確保	55.5	△12.4 ⑨	2.8 ④	7.3 ②	1.9 ⑤	△4.8 ⑦	△ 8.3 ⑤
5	(20) 転 職 の 機 会	55.1	△ 9.4 ⑤	3.6 ③	2.9 ⑤	3.1 ④	1.2 ④	△14.6 ⑪
6	(18) 高 齢 者 ・ 身 障 者 の 就 業 機 会	55.0	△ 6.7 ②	△1.4 ⑨	3.0 ⑤	2.2 ⑥	0.8 ⑤	△ 5.4 ③
7	(19) 職 業 ， 居 住 地 選 択 の 自 由	54.2	△ 6.3 ③	3.3 ⑤	1.0 ⑨	2.8 ⑦	0.4 ⑥	△ 9.8 ⑥
8	(40) 交通ルールへの遵守	51.8	△ 7.2 ⑥	5.6 ⑥	5.7 ⑦	0.1 ⑩	△2.1 ⑧	△15.3 ⑮
9	(35) 緑 地 の 確 保	48.4	△ 7.6 ⑭	△3.3 ⑳	1.5 ⑮	8.3 ⑧	△1.5 ⑪	△ 5.9 ⑨
10	(47) 長期休暇の取得	48.3	△15.3 ⑳	6.2 ⑧	7.0 ⑧	4.2 ⑨	△6.8 ⑮	△13.8 ㉑
11	(15) 仕事のやりがい	48.1	△ 5.0 ⑨	1.2 ⑫	2.1 ⑭	0.9 ⑭	0.2 ⑨	△ 5.3 ⑦
12	(45) 商品苦情相談の充実	48.0	△12.4 ⑳	1.2 ⑭	5.3 ⑪	2.9 ⑪	△0.1 ⑩	△10.3 ⑮
13	(32) 公 園 の 整 備	47.3	△ 3.9 ⑧	2.2 ⑪	2.0 ⑯	2.6 ⑬	△4.1 ⑯	△ 4.5 ⑦
14	(46) 週休2日制，労働時間の短縮	47.2	△ 5.6 ⑬	7.4 ⑦	5.4 ⑬	0.5 ⑯	△4.7 ⑰	△16.2 ㉒
16	(11) 各種学校の充実	45.1	1.7 ④	1.9 ⑯	△1.7 ㉑	3.6 ⑮	0.3 ⑬	△ 9.8 ⑰
17	(25) 1人1部屋の確保	44.7	△10.6 ㉑	3.7 ⑮	8.9 ⑩	△0.7 ㉑	△3.7 ⑰	△12.9 ㉑
24	(21) 県内就職の機会	40.8	2.7 ⑦	△1.2 ㉒	△2.3 ㉑	1.9 ㉑	5.5 ⑫	△ 7.5 ㉑
28	(43) 年金制度の充実	39.5	△20.4 ㉑	△1.6 ㉑	4.4 ㉑	1.6 ㉑	3.9 ⑮	2.2 ⑩
平均 (65項目)		35.2	29.5	36.6	38.1	36.8	33.7	29.0

注) 割合は「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」の割合の計である。○内は順位を示す。

最後に、地域別に不満の状況をみると、不満の1位は北部と中部、南部、八重山が「物価の安定」、那覇が「緑地の確保」、宮古が「各種学校の充実」、また2位については、中部と南部が「失業の不安の解消」、那覇と宮古が「歩行者の安全確保」、八重山が「高齢者・身障者の就業機会」、北部は「失業の不安の解消」が「物価の安定」と同率1位で並んでいる。

以上のように、域内の不満順位は特に那覇と宮古が異なる状況にあるが、不満度合でみると、県計で1, 2, 3位を占めていた「物価の安定」、「失業の不安の解消」、「収入の増加」については、すべて八重山での不満が最も多い。また、北部においては「物価の安定」が1位であったが、その不満度合は3位とする那覇や5位とする宮古よりも少ない状況にある。「失業の不安の解消」については、宮古での不満度が相対的に少なく、順位的にも他地域が1～4位に位置している中で

宮古は11位と低い位置にある。

その他、「高齢者・身障者の就業機会」については、八重山での不満が相当高く、「各種学校の充実」については、宮古に次いで八重山において不満度が極めて高い。また、「公害防止の充実」については中部、「親しめる自然環境」については那覇での不満が突出している。

以上のように、生活各面に対する不満度は、地域によって異なる状況にあるが、総じてみると、北部に次いで南部での不満度は相対的に低く、八重山での不満度が高い状況にある。

表3-6 地域別にみた不満度の高い10項目

(単位：％，ポイント)

県計の順位及び項目名		県計の割合	県計の割合との差及び域内での順位					
順位	項目		北部	中部	那覇	南部	宮古	八重山
1	(42) 物価の安定	61.6	△ 6.8 ①	0.6 ①	△ 2.3 ③	4.9 ①	△ 2.9 ⑤	10.9 ①
2	(14) 失業の不安の解消	58.5	△ 3.7 ①	1.8 ②	0.0 ④	0.2 ②	△ 7.2 ⑪	3.0 ④
3	(41) 収入の増加	56.6	△ 3.7 ⑤	2.0 ③	△ 1.4 ⑧	△ 0.9 ③	△ 0.6 ⑦	4.9 ④
4	(39) 歩行者の安全確保	55.5	△ 9.9 ⑪	1.8 ④	5.3 ②	△ 6.9 ⑪	4.5 ②	△ 5.0 ⑭
5	(20) 転職の機会	55.1	△ 3.3 ⑥	0.5 ⑤	0.5 ⑦	△ 0.7 ⑤	0.2 ⑨	1.8 ⑧
6	(18) 高齢者・身障者の就業機会	55.0	△ 3.9 ⑦	△ 0.8 ⑦	0.2 ⑧	△ 0.2 ④	1.7 ⑥	13.8 ②
7	(19) 職業、居住地選択の自由	54.2	△ 0.9 ④	1.4 ⑤	△ 0.4 ⑩	△ 1.4 ⑦	△ 6.9 ⑰	6.4 ⑥
8	(40) 交通ルールの遵守	51.8	△ 11.4 ⑰	1.0 ⑧	5.3 ⑥	△ 5.2 ⑭	4.2 ⑦	△ 0.4 ⑪
9	(35) 緑地の確保	48.4	△ 23.0 ④①	3.9 ⑩	13.8 ①	△ 10.3 ⑳	△ 7.1 ㉔	△ 19.0 ④⑦
10	(47) 長期休暇の取得	48.3	△ 6.0 ⑬	△ 1.1 ⑰	2.0 ⑭	1.7 ⑩	2.4 ⑫	1.2 ⑮
11	(15) 仕事のやりがい	48.1	△ 2.1 ⑩	0.5 ⑬	△ 0.8 ⑬	△ 0.2 ⑫	0.6 ⑮	6.0 ⑨
12	(45) 商品苦情相談の充実	48.0	2.0 ⑧	△ 0.6 ⑮	△ 5.0 ㉔	4.5 ⑧	11.3 ③	0.6 ⑰
13	(32) 公園の整備	47.3	△ 1.0 ⑨	1.3 ⑫	△ 2.8 ㉑	△ 0.5 ⑬	1.4 ⑮	10.5 ⑦
14	(46) 週休2日制、労働時間の短縮	47.2	△ 5.6 ⑭	0.3 ⑭	△ 0.9 ⑰	4.6 ⑨	△ 1.9 ⑰	1.4 ⑰
16	(11) 各種学校の充実	45.1	8.9 ③	△ 3.2 ㉒	△ 11.5 ㉓	8.1 ⑥	23.6 ①	18.2 ③
19	(49) クラブ参加の機会	43.4	1.5 ⑫	△ 1.7 ㉓	△ 1.7 ㉓	0.2 ⑰	15.9 ③	0.6 ㉒
20	(36) 公害防止の充実	42.6	△ 14.7 ④⑩	9.9 ⑨	2.2 ⑳	△ 8.2 ㉔	△ 13.9 ④④	△ 15.1 ④⑨
22	(34) 親しめる自然環境	41.6	△ 28.0 ⑤⑤	5.0 ⑰	16.1 ⑤	△ 7.9 ③⑤	△ 16.9 ④⑦	△ 29.7 ⑥②
23	(58) 福祉サービスの充実	41.2	△ 8.5 ⑳	△ 0.7 ㉔	2.1 ㉔	△ 0.8 ㉒	2.1 ㉑	12.9 ⑨
31	(65) 住民参加	37.7	△ 8.3 ③⑤	△ 4.2 ③⑨	4.4 ㉔	0.8 ㉔	14.3 ⑩	6.3 ㉒

注) 表3-5と同じ。

4. 生活各面のニーズ

生活各面における重要度及び満足度の状況からニーズ得点(注・P18)を計算して、生活各面の状況をみると、ニーズの1位は「物価の安定」、2位が「失業の不安の解消」、3位が「収入の増加」、4位が「歩行者の安全確保」、5位が「交通ルールの遵守」、逆にニーズが最も少ないのは「地域行事への参加」、次いで「上水道の整備」となっている。

また、ニーズ順位を前回と比較すると、1,2位は変わらず、最下位の1,2位も変わっていない。さらにニーズ度合でみると、63項目のうち、62項目のニーズは減少したが、「収入の増加」については唯一増加した。このことは、生活環境が全体的に改善され、生活に対する満足度が増加、あるいは不満度が減少した中で、収入のみが安定経済成長時代に入って不満度が高まり、ニーズがやや強まったといえよう。

また、「物価の安定」については、ニーズの減少度合が「公衆電話の充実」に次いで2番目に大きかったものの、消費者物価の上昇率が2%台と極めて安定した中で、なおニーズの1位ということは、県民の物価に対する関心度が極めて高いことを示しているといえよう。また、ニーズの2位の「失業の不安の解消」については、県内の雇用失業情勢の厳しさを反映したものであり、また、前回に比べニーズ度合の減少が最も大きかったのは「公衆電話の充実」であるが、これは公衆電話の整備の結果であろう。

表4-1 ニーズ得点の高い10項目

順位	項目	平均得点		増減 (1) - (2)
		今回(1)	前回(2)	
1	(42) 物価の安定	17.530	19.557 ①	△ 2.027
2	(14) 失業の不安の解消	16.964	17.666 ②	△ 0.702
3	(41) 収入の増加	16.487	16.186 ⑤	0.301
4	(39) 歩行者の安全確保	16.185	17.473 ③	△ 1.288
5	(40) 交通ルールの遵守	15.928	- -	-
6	(43) 年金制度の充実	15.231	15.701 ⑨	△ 0.470
7	(15) 仕事のやりがい	15.106	16.184 ⑥	△ 1.078
8	(58) 福祉サービスの充実	15.079	16.243 ④	△ 1.164
9	(18) 高齢者・身障者の就業機会	14.932	15.920 ⑧	△ 0.988
10	(37) 基地の安全管理の確保	14.907	15.064 ⑭	△ 0.157
(11)	(59) 生活保障の確保	14.823	16.114 ⑦	△ 1.291
(15)	(52) 暴力対策	14.507	15.592 ⑩	△ 1.085

注) 平均得点の前回中、○内は前回の順位である。

表 4-2 ニーズ得点の低い 10 項目

順位	項 目	平均得点		増 減 (1) - (2)
		今回 (1)	前回 (2)	
1	(62) 地域行事への参加	8.754	9.301 ①	△ 0.547
2	(31) 上水道の整備	9.504	9.633 ②	△ 0.129
3	(63) 公民館・集会場の利用機会	9.693	10.674 ④	△ 0.985
4	(64) コミュニティ組織の充実	10.079	11.016 ⑦	△ 0.937
5	(30) 公衆電話の充実	10.266	12.450 ⑬	△ 2.184
6	(61) 近隣とのつきあい	10.269	10.557 ③	△ 0.288
7	(29) 買物の利便	10.401	10.789 ⑤	△ 0.388
8	(56) 円満な夫婦関係	10.528	10.844 ⑥	△ 0.316
9	(5) 幼稚園の施設内容	10.651	11.829 ⑧	△ 1.178
10	(6) 小中学校の施設内容	10.817	12.100 ⑫	△ 1.283
(13)	(22) 定年制の延長	11.272	11.985 ⑩	△ 0.713
(14)	(54) 親と子の対話	11.363	11.882 ⑨	△ 0.519

注) 表 4-1 の注) に同じ

表 4-3 ニーズ得点の対前回減少度の高い 10 項目

順位	項 目	平均得点		差 (1) - (2)
		今回 (1)	前回 (2)	
1	(30) 公衆電話の充実	10.266	12.450	△ 2.184
2	(42) 物価の安定	17.530	19.557	△ 2.027
3	(60) 保育の機会	11.769	13.332	△ 1.563
4	(10) 図書館・独学施設の整備	12.753	14.259	△ 1.506
5	(48) 運動施設の利用機会	12.311	13.796	△ 1.485
6	(49) クラブ参加の機会	11.784	13.230	△ 1.446
7	(32) 公園の整備	13.766	15.174	△ 1.408
8	(7) 高校の施設内容	10.965	12.315	△ 1.350
9	(9) 特殊教育の充実	12.919	14.260	△ 1.341
9	(50) 犯罪の防止	13.476	14.817	△ 1.341

注) ニーズ得点の算出方法

- (1) 重要度平均得点：重要度の回答で「ひじょうに重要である」を 5 点～「まったく重要でない」を 1 点（わからないは 3 点）として算出
- (2) 不満足度平均得点：満足度の回答で、満足度とは逆に「ほとんど満たされていない」を 5 点～「じゅうぶん満たされている」を 1 点（わからないは 3 点）として算出
- (3) ニーズ得点 = 重要度平均得点 × 不満足度平均得点

付表4-1 ニーズ得点表(65項目)

(県計)

今回調査				前回調査		増減
順位	領域	項目	平均得点	順位	平均得点	(今回)-(前回)
1	消費生活	(42) 物価の安定	17.530	1	19.557	△ 2.027
2	労働	(14) 失業の不安の解消	16.964	2	17.666	△ 0.702
3	消費生活	(41) 収入の増加	16.487	5	16.186	△ 0.301
4	安全	(39) 歩行者の安全確保	16.185	3	17.473	△ 1.288
5	安全	(40) 交通ルールの遵守	15.928	-	-	-
6	消費生活	(43) 年金制度の充実	15.231	9	15.701	△ 0.470
7	労働	(15) 仕事のやりがい	15.106	6	16.184	△ 1.078
8	社会福祉	(58) 福祉サービスの充実	15.079	4	16.243	△ 1.164
9	労働	(18) 高齢者・身障者の就業機会	14.932	8	15.920	△ 0.988
10	安全	(37) 基地の安全管理の確保	14.907	17	15.064	△ 0.157
11	社会福祉	(59) 生活保障の確保	14.823	7	16.114	△ 1.291
12	住宅	(26) 地価の安定	14.776	11	15.555	△ 0.779
13	労働	(19) 職業、居住地選択の自由	14.692	12	15.361	△ 0.669
14	犯罪と法	(51) 犯罪検挙の充実	14.601	13	15.353	△ 0.752
15	犯罪と法	(52) 暴力対策	14.507	10	15.592	△ 1.085
16	家族	(53) 青少年の非行防止	14.360	14	15.253	△ 0.893
17	快適	(36) 公害防止の充実	14.230	21	14.722	△ 0.492
18	消費生活	(44) 消費生活の省資源化	14.184	19	15.001	△ 0.817
19	地域活動	(65) 住民参加	14.042	18	15.021	△ 0.979
20	消費生活	(45) 商品苦情相談の充実	14.014	16	15.162	△ 1.148
21	快適	(35) 緑地の確保	13.886	22	14.705	△ 0.819
22	快適	(32) 公園の整備	13.766	15	15.174	△ 1.408
23	犯罪と法	(53) 法執行の公正	13.692	23	14.336	△ 0.644
24	労働	(20) 転職の機会	13.611	26	14.212	△ 0.601
25	安全	(38) 災害対策の充実	13.552	27	14.157	△ 0.605
26	犯罪と法	(50) 犯罪の防止	13.476	20	14.817	△ 1.341
27	快適	(33) ゴミ、下水道の衛生処理	13.390	30	13.593	△ 0.203
28	健康	(2) 費用の心配のない診療	13.322	33	13.638	△ 0.316
29	住宅	(23) 持家の確保	13.210	32	13.743	△ 0.533
30	社会福祉	(57) 家事、育児、教育相談の充実	13.007	28	14.153	△ 1.146
31	労働	(17) 男女賃金格差の解消	12.995	34	13.559	△ 0.564
32	健康	(4) 救急医療体制の確保	12.984	29	14.093	△ 1.109
33	労働	(21) 県内就職の機会	12.963	36	13.311	△ 0.348
34	教育	(9) 特殊教育の充実	12.919	24	14.260	△ 1.341
35	教育	(10) 図書館・独学施設の整備	12.753	25	14.259	△ 1.506
36	余暇	(46) 週休2日制、労働時間の短縮	12.580	41	12.948	△ 0.368
37	住宅	(25) 一人一部屋の確保	12.568	-	-	-
38	快適	(34) 親しめる自然環境	12.480	39	13.165	△ 0.685
39	健康	(3) 病気予防・健康相談	12.432	38	13.166	△ 0.734
40	余暇	(48) 運動施設の利用機会	12.311	31	13.796	△ 1.485
41	余暇	(47) 長期休暇の取得	12.293	45	12.475	△ 0.182
42	住宅	(27) 良好な住宅環境	12.087	50	12.285	△ 0.198
43	労働	(16) 職場の安全確保	12.079	42	12.928	△ 0.849
44	住宅	(24) 公共住宅の整備	12.068	43	12.804	△ 0.736
45	健康	(1) 診療・治療の機会	12.042	40	13.137	△ 1.095
46	教育	(8) 教育の内容・質の向上	11.790	47	12.441	△ 0.651
47	余暇	(49) クラブ参加の機会	11.784	37	13.230	△ 1.446
48	社会福祉	(60) 保育の機会	11.769	35	13.332	△ 1.563
49	利便	(28) 交通の便	11.709	49	12.306	△ 0.597
50	文化	(12) 文化遺産・史跡の保護	11.550	51	12.177	△ 0.627
51	文化	(11) 各種学校の充実	11.370	44	12.528	△ 1.158
52	家族	(54) 親と子の対話	11.363	55	11.882	△ 0.519
53	労働	(22) 定年制の延長	11.272	54	11.985	△ 0.713
54	文化	(13) 伝統工芸の振興	11.194	53	12.043	△ 0.849
55	教育	(7) 高校の施設内容	10.965	48	12.315	△ 1.350
56	教育	(6) 小中学校の施設内容	10.817	52	12.100	△ 1.283
57	教育	(5) 幼稚園の施設内容	10.651	56	11.829	△ 1.178
58	家族	(56) 円満な夫婦関係	10.528	58	10.844	△ 0.316
59	利便	(29) 買物の利便	10.401	59	10.789	△ 0.388
60	地域活動	(61) 近隣とのつきあい	10.269	61	10.557	△ 0.288
61	利便	(30) 公衆電話の充実	10.266	46	12.450	△ 2.184
62	地域活動	(64) コミュニティ組織の充実	10.079	57	11.016	△ 0.937
63	地域活動	(63) 公民館・集会場の利用機会	9.693	60	10.678	△ 0.985
64	快適	(31) 上水道の整備	9.504	62	9.633	△ 0.129
65	地域活動	(62) 地域行事への参加	8.754	63	9.301	△ 0.547

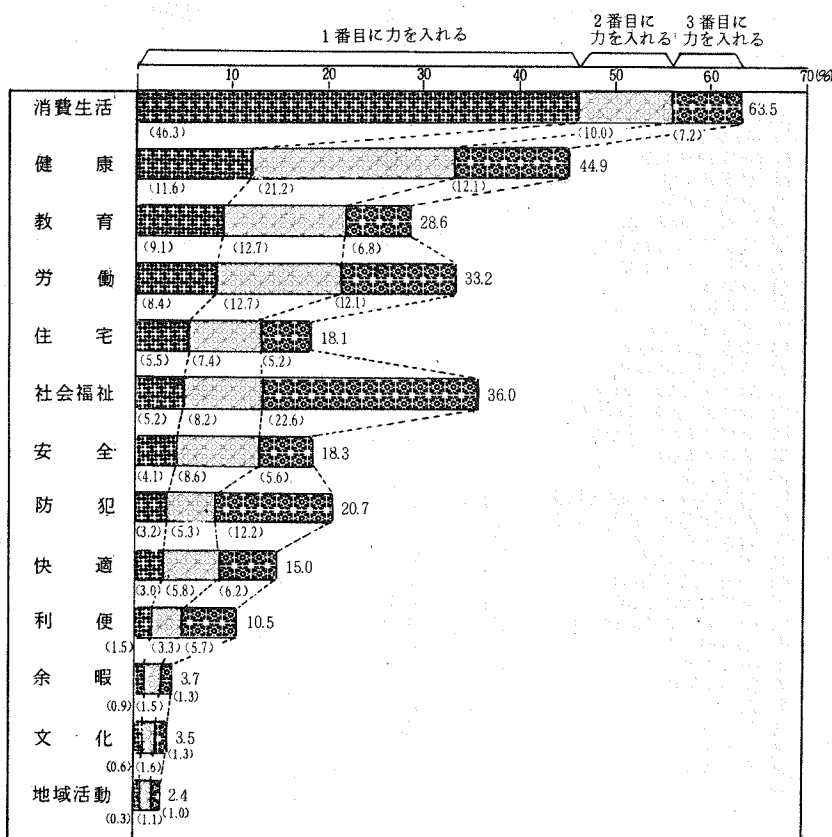
5. 政策優先度

13の生活領域の中から、県や国、市町村が政策として力を入れて欲しいと希望する領域を1番目から3番目まで選択してもらい回答を求めた。

その結果は図5-1でみるとおり、政策として1番目に力を入れるべきだとしている領域は「消費生活」で、全体の46.3%を占め、極めて多い状況にある。前述したように生活各面での意向では、収入の増加や物価の安定に対するニーズが高かったが、政策としてもやはり、収入の増加や物価の安定等の領域である「消費生活」に対するニーズが極めて高いことを示している。その他の領域に対するニーズは「消費生活」との相対関係で少ない状況にあるが、医療の確保や病気の予防等の「健康」が11.6%、学校教育の充実等の「教育」が9.1%、雇用の安定とやりがいのある職場の確保等の「労働」が8.4%、住宅の確保等の「住宅」が5.5%、社会的弱者が安心してくらせる「社会福祉」が5.2%となっている。なお、「地域活動」(0.3%)や「文化」(0.6%)、「余暇」(0.9%)に対するニーズは極めて少ない状況にある。

次に2番目の政策とされた領域をみると「健康」が21.2%と最も多く、3番目の領域については「社会福祉」が22.6%と最も多い状況にある。このように、政策として優先すべき領域は1番目が

図5-1 生活領域別の政策優先度(県計)



「消費生活」、2番目が「健康」、3番目が「社会福祉」という組合せを選んだ人が最も多かったということがわかる。

さらに、1番目から3番目までの単純合計でも「消費生活」が63.5%と最も多く、次いで「健康」(44.9%)、「社会福祉」(36.0%)、「労働」(33.2%)、教育(28.6%)とつづき、「地域活動」(2.4%)や「文化」(3.5%)及び「余暇」(3.7%)に対するニーズは少ない状況にある。このように、政策ニーズは生活に直結する領域で高く、生活に直接的に影響しないか或いは生活に余裕を求める領域に対するニーズは極めて少ないことを示している。

なお、前回調査と比較すると図5-2及び表5-1のとおり、県民の政策ニーズにはそれほどの変化はなく、「社会福祉」に対するニーズがいくぶん弱まった程度である。

図5-2 前回との比較(1番目に力を入れる)

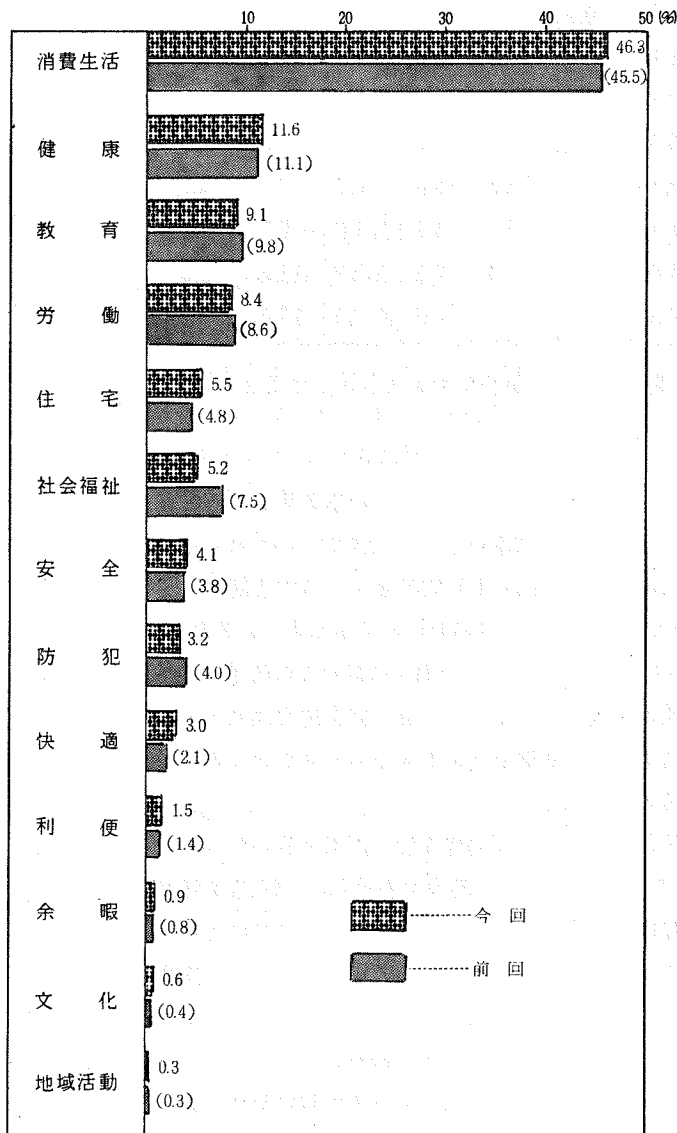


表5-1 生活領域別政策優先度（県計）

— 前回との比較増減 —

（単位：％）

政策 優先度 領域	1 番 目			2 番 目			3 番 目			計		
	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減
消費生活	46.3	45.5	0.8	10.0	10.3	△0.3	7.2	7.0	0.2	63.5	62.8	0.7
教 育	9.1	9.8	△0.7	12.7	12.1	0.6	6.8	6.4	0.4	28.6	28.3	0.3
住 宅	5.5	4.8	0.7	7.4	7.3	0.1	5.2	5.3	△0.1	18.1	17.4	0.7
余 暇	0.9	0.8	0.1	1.5	0.9	0.6	1.3	1.3	0.0	3.7	3.0	0.7
安 全	4.1	3.8	0.3	8.6	7.7	0.9	5.6	6.2	△0.6	18.3	17.7	0.6
文 化	0.6	0.4	0.2	1.6	1.2	0.4	1.3	1.7	△0.4	3.5	3.3	0.2
健 康	11.6	11.1	0.5	21.2	19.4	1.8	12.1	12.8	△0.7	44.9	43.3	1.6
快 適	3.0	2.1	0.9	5.8	4.7	1.1	6.2	5.9	0.3	15.0	12.7	2.3
地域活動	0.3	0.3	0.0	1.1	0.7	0.4	1.0	1.3	△0.3	2.4	2.3	0.1
労 働	8.4	8.6	△0.2	12.7	13.4	△0.7	12.1	10.7	1.4	33.2	32.7	0.5
利 便	1.5	1.4	0.1	3.3	4.3	△1.0	5.7	5.2	0.5	10.5	10.9	△0.4
防 犯	3.2	4.0	△0.8	5.3	7.5	△2.2	12.2	12.0	0.2	20.7	23.5	△2.8
社会福祉	5.2	7.5	△2.3	8.2	10.2	△2.0	22.6	23.7	△1.1	36.0	41.4	△5.4

注) 1. 1番目とは「1番目に力を入れる」のこと。

次に、属性別に1番目に力を入れるべきだとしている政策をみると表5-2及び図5-3のとおりとなっている。（注：2番目及び3番目とした政策については一応除く。）

まず男女別では、男女とも「消費生活」に対するニーズが圧倒的に多いが、その割合は男子が45.4％、女子が47.4％で、男子より女子の方がいくぶん多い。また、「健康」も男子10.2％に対して女子は13.4％と女子の方が多く、一方、「労働」に対しては男子が10.5％、女子が5.8％と男子が多い状況にある。その他の領域に対するニーズは、男女間ではほとんど差がみられない。なお、前回調査と比較すると、女子の「社会福祉」に対するニーズがいくぶん弱まった程度（△2.4ポイント）で、男女ともそれほど変化はない。

次に年齢別では、各年代ともやはり「消費生活」が最も多いが、そのニーズ割合は50代の50.7％に対し10代は29.6％と年代間で大きな差がみられ、60代を除けば年齢が高くなるにしたがってニーズは高くなる傾向にある。その他では、「健康」については50代と60代の高齢者、「教育」については学生が主体となっている10代、「労働」については失業者が多いとみられる20代においてそれぞれ相対的にニーズが高い状況にある。また、「地域活動」と「文化」に対するニーズは全体的に少ないが、10代では他の年代に比べて相対的に多く、さらに「利便」や「快適」に対するニーズも他の年代を上回るなど、10代の政策ニーズは他の年代に比べ幅広く多様な状況にある。なお、前回調査と比較すると10代の「教育」に対するニーズが6.8ポイント増加し、逆に、「社会

福祉」に対するニーズが5.3ポイント減少しているのが目につく。

次に学歴別では、各学歴とも「消費生活」に対するニーズが最も多いのに変りはないが、その割合は小卒51.7%、中卒48.5%、高卒46.9%、大卒37.9%と高学歴ほど低く、また、「健康」に対するニーズも小卒16.5%、中卒11.4%、高卒10.7%、大卒9.8%と高学歴ほど低い状況にある。この傾向は学歴による意識差ともみられるが、年齢構成の差も影響しているとみられる。その他「教育」や「労働」に対する大卒のニーズが相対的に高いが目立っている。なお、前回調査と比較すると、高卒の「消費生活」に対するニーズが4.3ポイント増加し、小卒の「社会福祉」に対するニーズが4.5ポイント減少したのが目につく程度で、各学歴ともそう大きな変化はない。

次に職業別では、「消費生活」に対するニーズが最も高いということに変りはないが、そのニーズの度合には大きな差がみられる。「消費生活」に対するニーズは、主婦が最も高く55.7%、学生は28.2%と最も少ない。また、有職者においては技能工が52.9%と最も高く、管理職は37.1%と最も少ない。その他の領域では、「健康」と「教育」については管理職、「労働」については運輸・通信職のニーズが高い状況にある。なお、前回調査と比較すると、保安職と管理職での変化が目立ち、特に保安職では「消費生活」に対するニーズが19.1ポイント増、逆に「住宅」と「防犯」についてはそれぞれ7.3ポイント減、管理職では「消費生活」に対するニーズが7.1ポイント増、逆に「安全」については、7.2ポイント減という状況にある。

次に年収別にみると、「消費生活」に対するニーズが最も多いのに変りはないものの、ニーズの度合は400万円以上より400万円未満の年収層において高く、特に400万円以上になると年収が多くなるにしたがってニーズは低下する傾向にある。また、「教育」に対するニーズは「消費生活」の場合とは逆に、400万円未満の年収層より400万円以上の年収層において高く、400万円以上では、高年収層ほどニーズが高い。このように、年収と「消費生活」ニーズは負の相関関係、「教育」ニーズとは正の相関関係がみられる。なお、前回調査と比較すると、500万円台の年収層で「健康」に対するニーズが7.3ポイント増加し、逆に「消費生活」について9.2ポイント減少したこと、また、600万円台の年収層で「労働」に対するニーズが9.2ポイント増加し、逆に「教育」について10.8ポイント減少したのが目立っている。（注：600万円台の「教育」に対するニーズは前回28.9%と極めて高い状況にあった。）

最後に地域別にみると、「消費生活」に対するニーズが圧倒的に多い状況は同じであるが、その度合は八重山の53.2%に対し、那覇は41.0%と地域間で相当の差がみられる。「健康」については北部と八重山がそれぞれ16.5%と最も高く、中部は9.4%と相対的に低い。また、「教育」と「住宅」については那覇、「労働」と「安全」については宮古においてニーズが相対的に高い状況にある。なお、前回調査と比較すると、八重山で「消費生活」に対するニーズが13.9ポイント増加し、逆に「余暇」が8.1ポイント減少したのが目立っている。

表5-2 属性別にみた生活領域別政策

— 前回との比

領域 属性		消費生活			教育			住宅			余暇			安全			文化		
		今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減
	県計	46.3	45.5	0.8	9.1	9.8	△0.7	5.5	4.8	0.7	0.9	0.8	0.1	4.1	3.8	0.3	0.6	0.4	0.2
性別	男	45.4	44.5	0.9	9.5	10.7	△1.2	6.1	5.3	0.8	1.0	1.0	0.0	3.9	3.8	0.1	0.5	0.4	0.1
	女	47.4	46.4	1.0	8.5	8.9	△0.4	4.8	4.4	0.4	0.7	0.6	0.1	4.5	3.8	0.7	0.7	0.3	0.4
年齢階級別	15～19歳	29.6	30.3	△0.7	15.0	8.2	6.8	4.5	2.9	1.6	1.9	2.7	△0.8	9.0	9.4	△0.4	1.5	0.5	1.0
	20～29 "	45.1	45.4	△0.3	4.4	5.6	△1.2	6.1	6.4	△0.3	2.5	0.9	1.6	4.0	3.4	0.6	0.8	0.8	0.0
	30～39 "	47.9	47.3	0.6	8.6	9.3	△0.7	7.6	6.3	1.3	0.4	0.2	0.2	3.0	2.3	0.7	0.7	0.5	0.2
	40～49 "	49.6	48.3	1.3	9.7	13.1	△3.4	4.9	5.3	△0.4	0.3	0.3	0.0	2.9	3.6	△0.7	0.3	0.1	0.2
	50～59 "	50.7	50.3	0.4	9.7	11.7	△2.0	4.1	2.9	1.2	—	0.5	△0.5	3.6	2.0	1.6	—	0.2	△0.2
	60歳以上	47.2	45.6	1.6	10.3	11.2	△1.9	3.2	1.2	2.0	0.4	0.9	△0.5	6.0	4.9	1.1	—	—	—
学歴別	小卒	51.7	50.0	1.7	5.8	7.3	△1.5	3.7	1.8	1.9	—	1.0	△1.0	4.9	3.6	1.3	—	0.2	△0.2
	中卒	48.5	50.0	△1.5	8.8	8.9	△0.1	6.0	5.0	1.0	0.5	0.6	△0.1	4.5	3.1	1.4	0.3	0.2	0.1
	高卒	46.9	42.6	4.3	8.5	9.5	△1.0	6.2	5.6	0.6	1.1	1.0	0.1	3.5	4.1	△0.6	0.5	0.5	0.0
	短大・大卒	37.9	38.3	△0.4	13.1	14.5	△1.4	4.9	6.2	△1.3	1.6	0.4	1.2	4.4	3.5	0.9	1.8	0.6	1.2
業別	農林・漁業	47.1	45.9	1.2	7.5	12.3	△4.8	3.8	1.8	2.0	—	2.1	△2.1	8.3	2.7	5.6	—	0.6	△0.6
	事務職	45.8	45.0	0.8	13.0	12.1	0.9	4.7	5.2	0.5	0.5	0.2	0.3	3.7	3.2	0.5	0.5	—	0.5
	管理職	37.1	30.0	7.1	16.9	21.7	△4.8	4.5	1.7	2.8	—	—	—	1.1	8.3	△7.2	1.1	—	1.1
	専門・技術職	44.7	40.6	4.1	12.5	14.5	△2.0	2.9	6.6	△3.7	2.9	0.4	2.5	2.9	1.6	1.3	0.5	0.8	△0.3
	販売職	45.1	46.6	△1.5	9.0	8.0	1.0	9.4	6.0	3.4	1.1	—	1.1	4.0	6.9	△2.9	0.7	—	0.7
	運輸・通信職	51.2	54.6	△3.4	3.3	10.0	△6.7	8.9	5.4	3.5	0.8	0.8	0.0	3.3	0.8	2.5	0.8	0.8	0.0
	技能工	52.9	48.2	4.7	5.9	5.5	0.4	5.9	6.5	△0.6	0.6	0.2	0.4	2.2	3.5	△1.3	0.3	0.6	△0.3
	保安職	51.2	32.1	19.1	11.6	14.3	△2.7	7.0	14.3	△7.3	—	—	—	2.3	—	2.3	2.3	—	2.3
	サービス職	47.3	52.8	△5.5	6.5	4.9	1.6	6.5	7.9	△1.4	—	—	—	6.5	2.4	4.1	—	—	—
	主婦	55.7	53.8	1.9	7.2	10.0	△2.8	4.4	3.7	0.7	0.3	0.2	0.1	3.1	2.1	1.0	0.3	0.2	0.1
学生・生徒	28.2	27.5	0.7	15.0	9.8	5.2	4.9	2.8	2.1	2.3	2.6	△0.3	8.3	9.8	△1.5	1.5	1.0	0.5	
無職	47.9	40.2	7.7	4.9	7.3	△2.4	5.6	5.3	0.3	0.7	2.1	△1.4	3.5	3.5	0.0	1.4	0.3	1.1	
世帯の年間収入別	100万円未満	43.9	45.9	△2.0	9.6	5.9	3.7	5.9	4.1	1.8	0.8	0.4	0.4	5.6	4.8	0.8	—	0.1	△0.1
	100～200 "	53.8	48.0	5.8	5.1	8.4	△3.3	6.5	5.8	0.7	0.2	0.7	△0.5	5.8	3.3	2.5	0.6	0.2	0.4
	200～300 "	45.2	46.9	△1.7	9.4	10.5	△1.1	5.7	5.3	0.4	1.5	1.1	0.4	2.9	3.2	△0.3	0.5	0.8	△0.3
	300～400 "	46.3	42.2	4.1	9.1	12.7	△3.6	3.2	4.1	△0.9	0.3	—	0.3	2.6	3.6	△1.0	0.6	0.5	0.1
	400～500 "	42.1	44.9	△2.8	9.8	14.6	△4.8	6.6	4.4	2.2	1.1	0.5	0.6	2.7	3.9	△1.2	1.6	0.5	1.1
	500～600 "	38.9	48.1	△9.2	15.9	11.5	4.4	3.5	—	3.5	1.8	—	1.8	4.4	3.9	0.5	0.9	—	0.9
	600～700 "	31.9	32.7	△0.8	18.1	28.9	△10.8	4.2	—	4.2	1.4	1.9	△0.5	—	—	—	—	—	—
700万円以上	30.6	31.1	△0.5	22.4	23.0	△0.6	4.1	5.4	△1.3	2.0	—	2.0	2.0	6.8	△4.8	1.0	—	1.0	
地域別	北部	44.1	45.6	△1.5	6.6	9.1	△2.5	2.9	2.3	0.6	1.5	0.4	1.1	5.2	2.7	2.5	0.7	0.4	0.3
	中部	47.7	46.5	1.2	8.6	9.1	△0.5	4.8	4.1	0.7	0.7	0.3	0.4	4.6	3.6	1.0	0.6	0.4	0.2
	那覇	41.0	42.4	△1.4	10.9	11.3	△0.4	9.2	8.8	0.4	1.1	0.5	0.6	2.7	3.7	△1.0	1.0	—	1.0
	南部	50.7	46.9	3.8	9.2	8.3	0.9	4.1	4.0	0.1	0.9	0.8	0.1	3.7	4.5	△0.8	—	—	—
	宮古	49.3	48.8	0.5	7.3	12.9	△5.6	2.0	3.8	△1.8	—	1.3	△1.3	8.7	5.0	3.7	—	1.7	△1.7
八重山	53.2	39.3	13.9	9.2	11.9	△2.7	3.7	3.0	0.7	—	8.1	△8.1	3.0	5.2	△2.2	—	1.5	△1.5	

優先度（1番目に力を入れる）

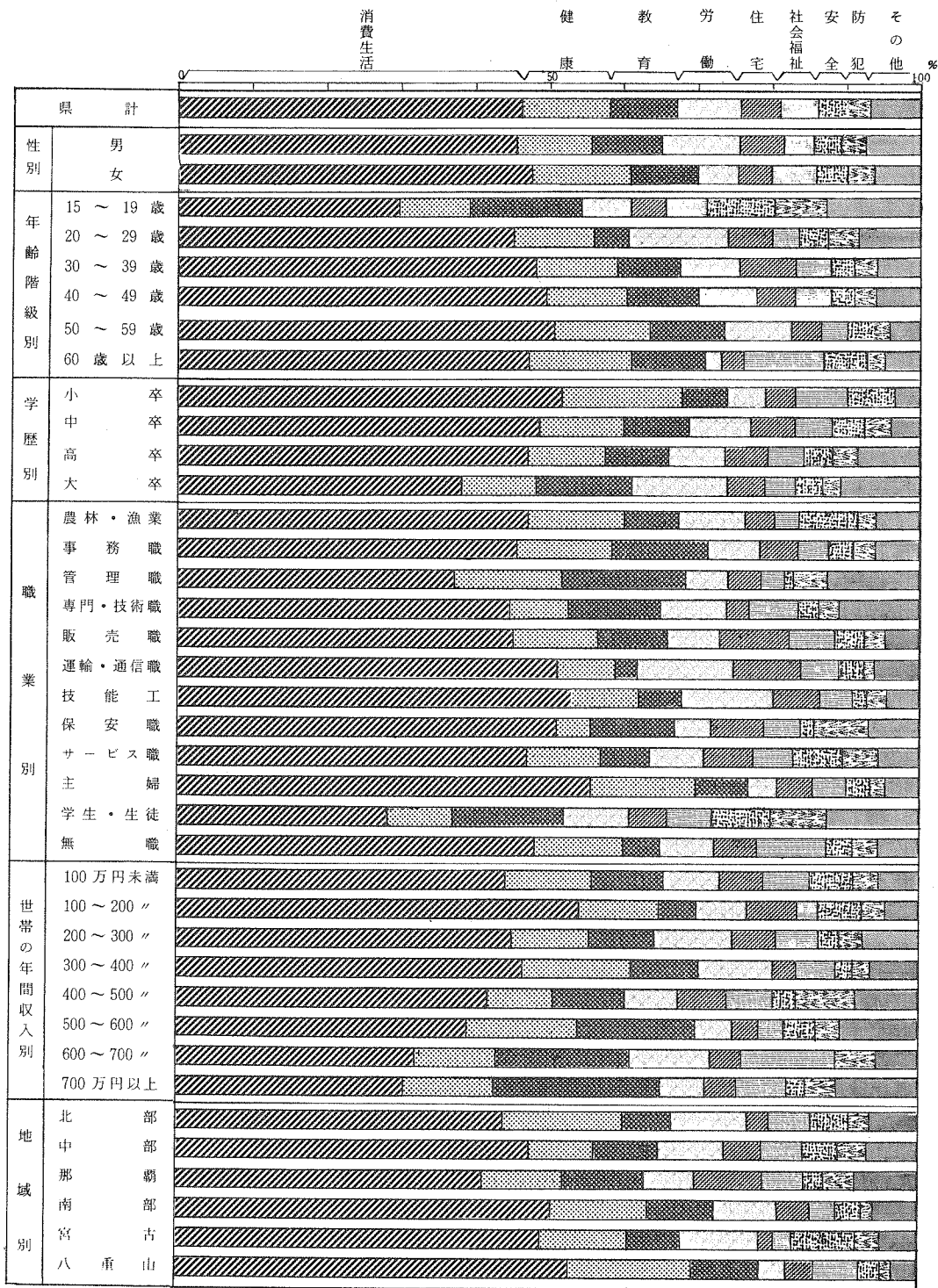
較増減－

（単位％）

	健康			快適			地域活動			労働			利便			防犯			社会福祉		
	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減	今回	前回	増減
	11.6	11.1	0.5	3.0	2.1	0.9	0.3	0.3	0.0	8.4	8.6	△0.2	1.5	1.4	0.1	3.2	4.0	△0.8	5.2	7.5	△2.3
	10.2	10.6	△0.4	2.6	1.9	0.7	0.3	0.3	0.0	10.5	10.1	0.4	1.8	1.3	0.5	3.2	4.0	△0.8	4.4	6.2	△1.8
	13.4	11.6	1.8	3.3	2.3	1.0	0.3	0.3	0.0	5.8	7.3	△1.5	1.1	1.4	△0.3	3.2	4.0	△0.8	6.2	8.6	△2.4
	9.7	12.5	△2.8	4.1	3.6	0.5	0.8	0.7	0.1	7.1	10.2	△3.1	3.4	3.3	0.1	7.1	4.9	2.2	5.6	10.9	△5.3
	10.9	10.5	0.4	2.7	2.0	0.7	0.2	0.4	△0.2	13.5	12.6	0.9	2.3	1.2	1.1	3.6	4.6	△1.0	3.6	6.4	△2.8
	11.1	9.7	1.4	2.7	2.2	0.5	0.3	0.3	0.0	8.2	9.7	△1.5	1.0	1.4	△0.4	2.9	4.7	△1.8	5.2	6.1	△0.9
	10.9	10.6	0.3	3.1	2.0	1.1	0.5	0.2	0.3	8.0	6.6	1.4	1.0	0.8	0.2	2.9	2.5	0.4	5.0	6.5	△1.5
	14.1	12.4	1.7	3.2	1.5	1.7	—	—	—	8.0	6.7	1.3	1.2	0.9	0.3	1.7	4.2	△2.5	3.4	6.7	△3.3
	13.9	14.3	△0.4	2.0	1.2	0.8	0.4	0.3	0.1	2.0	2.7	△0.7	0.8	1.2	△0.4	2.0	3.0	△1.0	11.1	13.4	△2.3
	16.5	14.1	2.4	1.8	1.8	0.0	0.6	0.2	0.4	4.9	6.2	△1.3	1.2	0.8	0.4	1.5	1.6	△0.1	7.0	11.5	△4.5
	11.4	11.4	0.0	2.0	1.7	0.3	0.3	0.3	0.0	8.1	8.6	△0.5	0.7	0.7	0.0	3.7	4.0	△0.3	4.9	5.4	△0.5
	10.7	10.4	0.3	3.6	2.4	1.2	0.3	0.3	0.0	7.7	9.0	△1.3	1.9	1.8	0.1	3.6	5.0	△1.4	5.2	7.7	△2.5
	9.8	8.9	0.9	3.8	2.3	1.5	0.2	0.4	△0.2	13.3	12.0	1.3	2.2	2.1	0.1	2.4	3.5	△1.1	4.2	7.4	△3.2
	13.3	16.8	△3.5	2.1	1.5	0.6	0.4	—	0.4	9.2	6.3	2.9	1.7	1.5	0.2	2.5	2.7	△0.2	3.3	5.7	△2.4
	13.0	11.2	1.8	2.6	1.6	1.0	0.5	0.7	△0.2	6.8	9.5	△2.7	2.1	1.1	1.0	2.6	4.7	△2.1	4.2	5.4	△1.2
	14.6	11.7	2.9	6.7	1.7	5.0	1.1	—	1.1	5.6	8.3	△2.7	2.3	—	2.3	4.5	8.3	△3.8	3.4	8.3	△4.9
	8.2	8.2	0.0	3.4	2.7	0.7	0.5	—	0.5	9.1	10.5	△1.4	2.9	2.3	0.6	2.4	5.5	△3.1	6.7	6.3	0.4
	11.6	10.3	1.3	2.2	2.6	△0.4	—	0.3	△0.3	6.9	6.0	0.9	1.1	0.6	0.5	2.9	4.0	△1.1	5.8	8.9	△3.1
	8.1	10.0	△1.9	2.4	0.8	1.6	0.8	—	0.8	13.0	10.8	2.2	0.8	—	0.8	1.6	1.5	0.1	4.9	4.6	0.3
	8.9	11.2	△2.3	2.5	2.5	0.0	0.3	0.2	0.1	12.6	13.9	△1.3	0.6	0.6	0.0	2.5	3.1	△0.6	4.6	4.1	0.5
	4.7	10.7	△6.0	2.3	—	2.3	2.3	—	2.3	4.7	3.6	1.1	—	—	—	7.0	14.3	△7.3	4.7	10.7	△6.0
	10.1	6.7	3.4	3.0	1.2	1.8	—	—	—	7.7	6.7	1.0	2.4	1.8	0.6	4.7	6.7	△2.0	5.3	9.1	△3.8
	14.4	10.7	3.7	3.1	1.9	1.2	—	0.3	△0.3	3.9	6.6	△2.7	0.5	0.7	△0.2	2.3	3.3	△1.0	4.6	6.3	△1.7
	9.4	12.6	△3.2	4.1	3.3	0.8	0.4	0.8	△0.4	9.0	9.8	△0.8	3.8	3.9	△0.1	6.8	5.1	1.7	6.0	11.1	△5.1
	11.8	10.3	1.5	2.8	2.3	0.5	—	—	—	7.6	7.6	0.0	0.7	2.3	△1.6	3.5	2.9	0.6	9.7	15.8	6.1
	12.3	13.2	△0.9	1.9	0.9	1.0	0.3	0.4	△0.1	7.5	8.8	△1.3	1.1	1.6	△0.5	3.2	4.1	△0.9	6.7	9.6	△2.9
	11.0	11.5	△0.5	2.3	2.2	0.1	0.2	0.2	0.0	7.2	8.9	△1.7	1.1	1.3	△0.2	2.7	3.4	△0.7	3.3	6.2	△2.9
	10.6	9.8	0.8	3.3	1.9	1.4	0.5	0.6	△0.1	10.6	10.0	0.6	1.5	1.1	0.4	2.8	2.8	0.0	5.5	5.8	△0.3
	15.0	10.4	4.6	3.5	2.3	1.2	0.3	—	0.3	10.0	6.6	3.4	1.5	1.3	0.2	2.1	7.1	△5.0	5.3	9.2	△3.9
	8.7	8.3	0.4	3.8	4.9	△1.1	—	—	—	7.1	9.3	△2.2	2.2	2.0	0.2	8.2	2.4	5.8	6.0	4.4	1.6
	15.0	7.7	7.3	3.5	2.9	0.6	0.9	—	0.9	5.3	11.5	△6.2	3.5	2.9	0.6	2.7	1.9	0.8	3.5	9.6	△6.1
	11.1	17.3	△6.2	1.4	—	1.4	—	—	—	11.1	1.9	9.2	2.8	—	2.8	5.6	5.8	△0.2	12.5	11.5	1.0
	12.2	10.8	1.4	5.1	2.7	2.4	—	—	—	6.1	6.8	△0.7	2.0	—	2.0	4.1	9.5	△5.4	7.1	4.1	3.0
	16.5	13.4	3.1	2.6	2.9	△0.3	—	0.4	△0.4	9.9	8.7	1.2	0.7	1.4	△0.7	2.6	2.9	△0.3	5.5	9.7	△4.2
	9.4	10.9	△1.5	3.2	1.9	1.3	0.5	0.3	0.2	8.8	11.1	△2.3	1.6	1.1	0.5	3.8	3.8	0.0	5.6	7.0	△1.4
	11.3	9.3	2.0	3.8	2.3	1.5	0.4	0.5	△0.1	7.2	5.6	1.6	1.1	1.6	△0.5	4.2	5.3	△1.1	5.7	8.8	△3.1
	12.8	12.2	0.6	2.3	1.2	1.1	0.2	0.3	△0.1	8.7	8.0	0.7	1.8	2.2	△0.4	1.2	4.2	△3.0	3.7	7.4	△3.7
	12.0	10.8	1.2	0.7	1.7	△1.0	—	—	—	10.7	7.1	3.6	3.3	0.8	2.5	2.7	2.9	△0.2	2.7	3.3	△0.6
	16.5	13.3	3.2	1.8	5.2	△3.4	—	—	—	3.7	5.2	△1.5	0.9	—	0.9	0.9	3.0	△2.1	6.4	4.4	2.0

図5-3 生活領域別の政策優先度

(1番目の政策)



注) その他は「快適」、「利便」、「余暇」、「文化」、「地域活動」、「無答」の計である。

表 5 - 3 生活領域別政策優先度（割合）

（単位：％）

領域 属性		消費生活	教育	住宅	余暇	安全	文化	健康	快適	地域活動	労働	利便	防犯	社会福祉	無答	計	
県計	県計	1 番目	46.3	9.1	5.5	0.9	4.1	0.6	11.6	3.0	0.3	8.4	1.5	3.2	5.2	0.5	100.0
		2 番目	10.0	12.7	7.4	1.5	8.6	1.6	21.2	5.8	1.1	12.7	3.3	5.3	8.2	0.6	100.0
		3 番目	7.2	6.8	5.2	1.3	5.6	1.3	12.1	6.2	1.0	12.1	5.7	12.2	22.6	0.8	100.0
性別	男	1 番目	45.4	9.5	6.1	1.0	3.9	0.5	10.2	2.6	0.3	10.5	1.8	3.2	4.4	0.7	100.0
		2 番目	10.2	13.2	7.9	2.2	8.4	1.7	19.4	5.9	1.0	13.1	3.0	5.1	8.2	0.8	100.0
		3 番目	7.8	7.9	5.1	1.6	5.5	1.4	12.0	6.3	0.6	13.0	5.5	11.8	20.8	0.8	100.0
	女	1 番目	47.4	8.5	4.8	0.7	4.5	0.7	13.4	3.3	0.3	5.8	1.1	3.2	6.2	0.3	100.0
		2 番目	9.7	12.1	6.8	0.7	8.8	1.4	23.5	5.7	1.3	12.3	3.6	5.6	8.3	0.4	100.0
		3 番目	6.4	5.4	5.3	0.9	5.7	1.2	12.3	6.1	1.5	11.0	5.8	12.7	24.9	0.8	100.0
年齢階級別	15～19歳	1 番目	29.6	15.0	4.5	1.9	9.0	1.5	9.7	4.1	0.8	7.1	3.4	7.1	5.6	0.8	100.0
		2 番目	7.5	4.5	5.6	5.2	11.6	3.4	12.0	9.4	1.5	13.9	7.1	6.4	10.9	1.1	100.0
		3 番目	9.7	4.9	3.8	1.9	2.6	1.9	12.0	12.4	0.8	9.4	6.4	12.7	20.6	1.1	100.0
	20～29歳	1 番目	45.1	4.4	6.1	2.5	4.0	0.8	10.9	2.7	0.2	13.5	2.3	3.6	3.6	0.2	100.0
		2 番目	14.1	8.0	8.4	2.1	7.6	1.9	20.6	5.5	1.1	15.2	4.6	4.2	6.5	0.2	100.0
		3 番目	6.7	3.8	8.2	1.9	6.9	1.3	11.6	6.9	1.5	10.9	7.6	13.5	18.7	0.4	100.0
	30～39歳	1 番目	47.9	8.6	7.6	0.4	3.0	0.7	11.1	2.7	0.3	8.2	1.0	2.9	5.2	0.4	100.0
		2 番目	8.9	14.5	10.6	1.3	9.0	1.0	21.1	4.9	1.3	12.3	3.2	4.9	6.4	0.7	100.0
		3 番目	6.9	8.9	4.4	2.0	5.9	1.7	13.2	5.6	0.6	11.7	6.2	9.9	22.3	0.7	100.0
	40～49歳	1 番目	49.6	9.7	4.9	0.3	2.9	0.3	10.9	3.1	0.5	8.0	1.0	2.9	5.0	0.7	100.0
		2 番目	9.7	18.9	5.2	0.3	6.9	2.1	21.5	5.9	1.6	11.3	2.1	5.0	8.8	0.7	100.0
		3 番目	6.9	10.2	3.8	0.9	5.5	1.0	11.1	5.2	1.2	14.7	4.9	11.3	22.2	1.0	100.0
	50～59歳	1 番目	50.7	9.7	4.1	—	3.6	—	14.1	3.2	—	8.0	1.2	1.7	3.4	0.2	100.0
		2 番目	10.7	12.6	5.6	1.2	10.0	1.0	23.1	6.1	0.2	12.4	2.7	5.8	8.5	0.2	100.0
		3 番目	5.8	6.6	5.3	0.2	5.6	0.7	12.9	4.4	1.0	13.1	3.6	13.3	26.7	0.7	100.0
	60歳以上	1 番目	47.2	10.3	3.2	0.4	6.0	—	13.9	2.0	0.4	2.0	0.8	2.0	11.1	0.8	100.0
		2 番目	7.1	11.1	6.3	—	7.5	0.4	29.0	4.8	0.8	11.9	0.8	7.1	11.9	1.2	100.0
		3 番目	8.7	1.2	6.0	—	5.2	1.2	11.5	5.6	1.2	10.3	5.2	15.9	27.0	1.2	100.0
学歴別	小卒	1 番目	51.7	5.8	3.7	—	4.9	—	16.5	1.8	0.6	4.9	1.2	1.5	7.0	0.3	100.0
		2 番目	8.3	10.1	6.7	0.9	10.0	0.6	26.6	4.6	1.2	11.9	1.2	6.1	11.3	0.6	100.0
		3 番目	8.0	3.4	6.4	—	5.2	0.3	12.8	4.9	1.8	13.8	5.2	10.1	27.5	0.6	100.0
	中卒	1 番目	48.5	8.8	6.0	0.5	4.5	0.3	11.4	2.0	0.3	8.1	0.7	3.7	4.9	0.3	100.0
		2 番目	8.6	13.2	5.7	0.5	8.6	1.2	25.9	5.3	0.9	12.6	3.5	5.2	8.4	0.3	100.0
		3 番目	6.3	5.6	5.3	0.4	6.1	0.7	11.4	4.3	0.5	13.7	6.0	15.4	23.9	0.4	100.0
	高卒	1 番目	46.9	8.5	6.2	1.1	3.5	0.5	10.7	3.6	0.3	7.7	1.9	3.6	5.2	0.3	100.0
		2 番目	11.3	13.4	8.3	1.5	9.0	1.6	18.4	6.0	1.3	13.2	3.5	5.2	7.0	0.5	100.0
		3 番目	7.0	7.7	4.1	1.9	4.9	1.5	13.7	7.0	1.0	11.8	5.5	11.1	22.0	0.7	100.0
	短大・大卒	1 番目	37.9	13.1	4.9	1.6	4.4	1.8	9.8	3.8	0.2	13.3	2.2	2.4	4.2	0.4	100.0
		2 番目	10.6	12.9	9.3	3.3	5.3	2.4	17.3	7.5	0.9	13.3	4.4	4.4	8.0	0.2	100.0
		3 番目	8.6	9.8	6.4	2.4	5.3	2.9	9.3	9.3	0.7	8.4	6.2	10.4	20.0	0.2	100.0

生活領域別政策優先度（割合）（つづき）

（単位：％）

属性	領域	消費生活	教育	住宅	余暇	安全	文化	健康	快適	地域活動	労働	利便	防犯	社会福祉	無答	計	
業 別	農林漁業	1番目	47.1	7.5	3.8	—	8.3	—	13.3	2.1	0.4	9.2	1.7	2.5	3.3	0.8	100.0
		2番目	6.7	12.1	3.8	1.7	10.0	2.1	25.4	7.1	—	12.1	2.5	5.4	10.8	0.4	100.0
		3番目	9.2	5.0	5.8	0.8	5.8	0.4	12.5	3.3	1.3	15.8	7.5	9.6	22.5	0.4	100.0
	事務職	1番目	45.8	13.0	4.7	0.5	3.7	0.5	13.0	2.6	0.5	6.8	2.1	2.6	4.2	—	100.0
		2番目	9.4	17.2	9.4	2.1	10.4	1.6	14.6	5.2	0.5	14.1	2.6	4.2	8.9	—	100.0
		3番目	9.4	9.4	5.7	3.1	1.0	1.0	10.9	10.4	1.0	10.4	5.7	10.4	21.4	—	100.0
	管理職	1番目	37.1	16.9	4.5	—	1.1	1.1	14.6	6.7	1.1	5.6	2.3	4.5	3.4	1.1	100.0
		2番目	11.2	13.5	9.0	2.3	9.0	3.4	14.6	12.4	—	10.1	2.3	3.4	7.9	1.1	100.0
		3番目	6.7	9.0	6.7	—	7.9	1.1	11.2	2.3	1.1	11.2	9.0	12.4	20.2	1.1	100.0
	専門・ 技術職	1番目	44.7	12.5	2.9	2.9	2.9	0.5	8.2	3.4	0.5	9.1	2.9	2.4	6.7	0.5	100.0
		2番目	11.5	14.9	11.5	1.9	4.8	1.9	21.2	4.3	—	11.1	2.9	4.3	9.1	0.5	100.0
		3番目	9.6	11.1	5.3	2.4	4.8	3.4	11.1	6.7	1.4	7.7	2.9	9.6	23.6	0.5	100.0
	販売職	1番目	45.1	9.0	9.4	1.1	4.0	0.7	11.6	2.2	—	6.9	1.1	2.9	5.8	0.4	100.0
		2番目	10.8	13.7	6.9	0.4	7.2	1.1	20.9	5.1	1.4	12.6	3.6	5.8	9.8	0.7	100.0
		3番目	5.8	7.2	5.4	0.7	6.5	1.1	13.4	5.8	2.2	11.6	6.5	11.6	21.3	1.1	100.0
	運輸・ 通信職	1番目	51.2	3.3	8.9	0.8	3.3	0.8	8.1	2.4	0.8	13.0	0.8	1.6	4.9	—	100.0
		2番目	8.1	19.5	5.7	0.8	8.9	0.8	23.6	3.3	2.4	13.0	3.3	4.1	6.5	—	100.0
		3番目	4.9	8.1	4.9	2.4	2.4	0.8	13.9	6.5	—	16.3	4.1	10.6	25.2	—	100.0
	技能工	1番目	52.9	5.9	5.9	0.6	2.2	0.3	8.9	2.5	0.3	12.6	0.6	2.5	4.6	0.3	100.0
		2番目	11.1	9.5	7.4	0.9	11.1	0.6	25.2	4.9	0.6	15.1	4.3	4.6	4.0	0.6	100.0
		3番目	7.1	5.9	4.6	1.2	7.1	1.2	14.5	3.4	1.2	13.5	4.9	13.9	20.9	0.6	100.0
	保安職	1番目	51.2	11.6	7.0	—	2.3	2.3	4.7	2.3	2.3	4.7	—	7.0	4.7	—	100.0
		2番目	16.3	9.3	14.0	2.3	11.6	4.7	20.9	—	2.3	9.3	—	4.7	4.7	—	100.0
		3番目	4.7	7.0	4.7	2.3	7.0	—	14.0	7.0	—	18.6	7.0	9.3	18.6	—	100.0
	サービス職	1番目	47.3	6.5	6.5	—	6.5	—	10.1	3.0	—	7.7	2.4	4.7	5.3	—	100.0
		2番目	10.7	13.0	8.9	0.6	7.7	1.2	21.3	5.9	2.4	14.2	3.0	3.6	7.7	—	100.0
		3番目	8.3	7.1	8.3	0.6	3.6	0.6	8.9	5.3	0.6	13.0	5.9	15.4	22.5	—	100.0
	主婦	1番目	55.7	7.2	4.4	0.3	3.1	0.3	14.4	3.1	—	3.9	0.5	2.3	4.6	0.3	100.0
		2番目	11.6	13.7	6.7	0.3	8.3	0.5	24.5	6.2	1.0	11.6	2.6	6.4	6.4	0.3	100.0
		3番目	4.4	4.6	4.4	0.3	8.0	1.0	13.1	5.7	0.5	10.8	5.2	13.1	27.6	1.3	100.0
学生・生徒	1番目	28.2	15.0	4.9	2.3	8.3	1.5	9.4	4.1	0.4	9.0	3.8	6.8	6.0	0.4	100.0	
	2番目	6.4	7.2	5.3	5.6	12.0	2.6	12.4	9.4	2.3	13.5	6.8	5.6	10.2	0.8	100.0	
	3番目	9.8	5.6	4.1	2.3	2.6	2.3	10.9	12.4	0.4	10.9	5.6	13.2	19.2	0.8	100.0	
無職	1番目	47.9	4.9	5.6	0.7	3.5	1.4	11.8	2.8	—	7.6	0.7	3.5	9.7	—	100.0	
	2番目	11.1	13.2	5.6	0.7	4.2	2.1	24.3	4.2	0.7	13.2	1.4	9.0	9.7	0.7	100.0	
	3番目	8.3	4.2	3.5	0.7	5.6	1.4	12.5	9.7	1.4	9.0	6.9	11.8	24.3	0.7	100.0	

注) 1番目とは「1番目に力を入れる」のこと。

生活領域別政策優先度（割合）（つづき）

（単位：％）

属性		領域	消費生活	教育	住宅	余暇	安全	文化	健康	快適	地域活動	労働	利便	防犯	社会福祉	無答	計
世帯 の 年 間 収 入 別	100万円未満	1番目	43.9	9.6	5.9	0.8	5.6	—	12.3	1.9	0.3	7.5	1.1	3.2	6.7	1.3	100.0
		2番目	9.4	9.1	5.9	1.1	8.3	1.3	25.4	4.3	1.3	13.4	1.3	7.0	11.2	1.1	100.0
		3番目	9.9	4.3	2.9	0.3	3.7	0.5	12.8	6.1	1.1	12.3	4.5	12.8	26.7	1.9	100.0
	100～200〃	1番目	53.8	5.1	6.5	0.2	5.8	0.6	11.0	2.3	0.2	7.2	1.1	2.7	3.3	—	100.0
		2番目	8.3	11.2	9.2	1.6	9.4	1.0	21.7	5.6	1.5	13.5	2.6	5.0	9.1	0.4	100.0
		3番目	6.0	5.3	6.6	0.4	6.5	1.2	15.1	4.3	1.0	14.2	5.3	12.1	21.7	0.4	100.0
	200～300〃	1番目	45.2	9.4	5.7	1.5	2.9	0.5	10.6	3.3	0.5	10.6	1.5	2.8	5.5	0.2	100.0
		2番目	11.9	14.1	8.5	1.6	9.1	2.0	22.0	4.4	0.7	11.5	3.3	5.4	5.4	0.3	100.0
		3番目	6.2	7.0	4.9	2.0	5.4	1.0	11.5	6.0	1.0	13.2	5.2	12.4	24.1	0.3	100.0
	300～400〃	1番目	46.3	9.1	3.2	0.3	2.6	0.6	15.0	3.5	0.3	10.0	1.5	2.1	5.3	0.3	100.0
		2番目	10.0	15.8	6.2	0.6	8.5	1.8	19.1	7.6	1.2	14.4	4.1	4.4	6.2	0.3	100.0
		3番目	7.9	7.9	5.3	1.8	7.6	1.5	11.7	8.5	1.2	7.6	6.5	11.7	19.9	0.9	100.0
	400～500〃	1番目	42.1	9.8	6.6	1.1	2.7	1.6	8.7	3.8	—	7.1	2.2	8.2	6.0	—	100.0
		2番目	8.7	14.2	4.4	1.6	6.6	1.6	20.2	9.3	0.6	14.2	2.2	2.7	13.7	—	100.0
		3番目	7.7	10.9	4.4	2.2	5.5	0.6	7.7	6.6	0.6	13.1	6.0	10.4	24.6	—	100.0
	500～600〃	1番目	38.9	15.9	3.5	1.8	4.4	0.9	15.0	3.5	0.9	5.3	3.5	2.7	3.5	—	100.0
		2番目	11.5	17.7	4.4	1.8	6.2	1.8	15.9	8.9	0.9	12.4	5.3	7.1	6.2	—	100.0
		3番目	5.3	12.4	5.3	3.5	3.5	3.5	6.2	5.3	1.8	8.9	7.1	11.5	25.7	—	100.0
	600～700〃	1番目	31.9	18.1	4.2	1.4	—	—	11.1	1.4	—	11.1	2.8	5.6	12.5	—	100.0
		2番目	16.7	9.7	5.6	1.4	8.3	4.2	15.3	1.4	1.4	11.1	9.7	5.6	9.7	—	100.0
		3番目	12.5	13.9	5.6	2.8	4.2	5.6	13.9	9.7	2.8	2.8	5.6	6.9	13.9	—	100.0
	700万円以上	1番目	30.6	22.4	4.1	2.0	2.0	1.0	12.2	5.1	—	6.1	2.0	4.1	7.1	1.0	100.0
		2番目	10.2	13.3	7.1	4.1	5.1	1.0	19.4	11.2	2.0	7.1	7.1	5.1	6.1	1.0	100.0
		3番目	10.2	7.1	3.1	1.0	2.0	1.0	9.2	13.3	—	10.2	7.1	19.4	15.3	1.0	100.0
地 域 別	北 部	1番目	44.1	6.6	2.9	1.5	5.2	0.7	16.5	2.6	—	9.9	0.7	2.6	5.5	1.1	100.0
		2番目	10.7	9.9	7.0	0.7	9.9	3.3	25.0	4.8	0.7	9.6	3.3	9.2	5.2	0.7	100.0
		3番目	8.1	6.6	8.5	2.2	2.9	0.4	10.7	3.7	0.4	12.5	5.2	10.7	27.6	0.7	100.0
	中 部	1番目	47.7	8.6	4.8	0.7	4.6	0.6	9.4	3.2	0.5	8.8	1.6	3.8	5.6	0.3	100.0
		2番目	9.6	12.9	6.8	1.4	9.6	1.4	21.7	5.2	1.0	13.9	3.1	5.5	7.4	0.5	100.0
		3番目	8.0	6.0	4.7	0.8	5.0	1.5	12.8	6.2	0.7	12.9	4.5	12.3	23.7	0.7	100.0
	那 覇	1番目	41.0	10.9	9.2	1.1	2.7	1.0	11.3	3.8	0.4	7.2	1.1	4.2	5.7	0.2	100.0
		2番目	11.3	12.2	8.9	1.5	7.8	1.9	18.2	7.1	1.9	11.1	3.4	5.3	9.0	0.4	100.0
		3番目	6.4	7.1	5.2	1.1	6.6	1.8	11.5	7.1	0.8	12.3	6.2	13.5	19.8	0.7	100.0
	南 部	1番目	50.7	9.2	4.1	0.9	3.7	—	12.8	2.3	0.2	8.7	1.8	1.2	3.7	0.7	100.0
		2番目	8.5	12.4	8.7	1.4	7.1	0.7	21.6	5.5	0.2	15.4	4.4	3.4	9.6	1.2	100.0
		3番目	4.8	8.3	5.5	1.4	6.9	1.4	13.3	6.7	1.6	9.6	8.3	10.8	20.2	1.4	100.0
	宮 古	1番目	49.3	7.3	2.0	—	8.7	—	12.0	0.7	—	10.7	3.3	2.7	2.7	0.7	100.0
		2番目	8.0	16.7	2.0	4.0	7.3	1.3	24.0	6.7	1.3	13.3	2.0	4.0	8.7	0.7	100.0
		3番目	9.3	4.0	3.3	4.0	6.0	—	10.0	4.0	2.0	12.0	6.0	14.7	24.0	0.7	100.0
	八 重 山	1番目	53.2	9.2	3.7	—	3.0	—	16.5	1.8	—	3.7	0.9	0.9	6.4	0.9	100.0
		2番目	11.0	16.5	5.5	0.9	9.2	—	22.9	5.5	0.9	10.1	1.8	2.8	11.9	0.9	100.0
		3番目	8.3	10.1	2.8	—	4.6	—	11.9	8.3	2.8	11.9	3.7	8.3	26.6	0.9	100.0

注) 1番目とは「1番目に力を入れる」のこと。